

MST-nano 取扱説明書

目次

1. ご使用の前に	4
1.1. 製品の構成.....	4
1.2. 各部名称.....	4
1.3. メインメニュー.....	5
2. 各種設定（ユーティリティ）	6
2.1. 各種設定.....	6
2.1.1. 自社情報設定.....	7
2.1.2. 接続設定.....	7
2.1.3. バックアップ/インポート	11
3. 車両診断	13
3.1. 車両診断選択.....	13
3.1.1. 車両情報の登録.....	14
3.1.2. 車両情報の削除.....	17
3.2. 診断メニュー.....	18
3.2.1. 診断ソフトのメインメニュー表示.....	19
3.3. 診断ソフトメインメニュー.....	21
3.3.1. 故障コードの読み取り.....	22
3.3.2. 故障コードの消去.....	27
3.3.3. 故障コードの保存.....	28
3.3.4. フリーズフレームデータ.....	29
3.3.5. DTCヘルプ機能.....	31
3.3.6. データモニタ.....	32
3.3.7. カスタマイズ.....	34
3.3.8. 作業サポート.....	36
3.3.9. アクティブテスト.....	38
3.3.10. レディネステスト	40
3.3.11. レポート作成	41
3.3.12. 印刷	43
3.3.13. 保存データ履歴表示と削除	44
3.3.14. I/F設定.....	46
3.3.15. I/F情報.....	46
4. 特殊機能	47
4.1. 特殊機能項目.....	47
4.1.1. メンテナンスモード.....	48

4.1.2. DPF	48
4.1.3. エーミング	50
5. 更新	52
5.1. I/Fの接続と更新	52
5.2. タブレットをインターネット接続しない場合の更新	57
6. タブレットの設定	63
6.1. 画面へのキーボード表示	63
6.2. キーボードソフトの起動	64
6.3. PDFの表示	67
6.3.1. ソフトのインストール（例：Edge）	67
6.3.2. タブレットをインターネット接続しない場合のインストール（例：Edge）	69
7. 保証について	72

安全にお使いいただくために必ずお読みください。

取扱説明書には、お使いになる人や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。本製品をより効率的にお使いいただくために、取扱説明書の内容についてよくご理解し記載事項をお守りください。

また、本製品を十分に活用していただくためには、車両コンピュータシステムを熟知されている必要があります。本製品を使用する際に修理書を参照せず、無理な使い方や破損させた場合、正しい使用方法以外で発生した損害については、一切の責任を負いかねます。

使用上のご注意及び注意事項

- 診断機を車両から着脱する際は、車両のイグニッションスイッチが OFF であることを必ず確認してください。イグニッションスイッチが ON の位置で脱着すると、本体やプログラムを破壊する場合があります。
- 診断機やケーブル類を無理に引っ張らないでください。
- 車両DLCに診断機がしっかりと接続されていることを確かめてから、本製品をお使いください。
- 診断機のコネクタ部に異物を入れないでください。
- 診断機及び付属品等の金属端子部に直接手を触れないでください。汚れによる接触不良や静電気による破壊等が発生する場合があります。
- 端子部分にエンジンオイルなどを付着させないでください。接触不良の原因となります。
- エンジンオイル、ガソリン、不凍液およびバッテリー液を診断機に付着させないでください。
- アルコールを含む液体で本製品をふかないでください。割れの原因となります。
- 気温 0°C ~ 50°C、湿度 80%以下の環境でご使用ください。
- ケーブル類の被覆が破れた場合は、ショートのおそれがありますのでご使用を中止してください。
- 診断機を水に濡らしたり、衝撃等を与えないでください。
- 運転者は、運転中に本製品を操作しないでください。
- 電源電圧は DC8V 以上 32V 以下でお使いください。
- 人的な傷害を未然に防ぐために、必ずパーキング・ブレーキを確実にかけ、また車輪止めを行い、車両の点検・修理を行ってください。
- 車庫などの周囲が囲まれている空間でエンジンを作動させたまま点検を行う際には、必ず十分な換気を行ってください。排気ガス中には意識不明状態や死亡に至らせる恐れのある無色無臭の非常に危険な一酸化炭素が含まれております。排気ガスは絶対に吸い込まないようにしてください。
- 本製品を分解・改造しないでください。

保管場所について下記の場所には保管しないでください。

- 水のかかるところ
- 強い衝撃が加わるところ
- 気温 -20°C 以下70°C 以上、湿度 80%以上のところ
- 結露のあるところ
- 直射日光があたるところや炎天下の車室内など高温になるところ

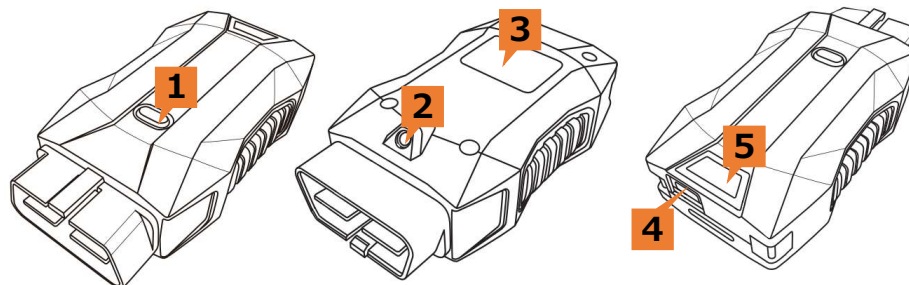
1. ご使用の前に

1.1. 製品の構成

製品名	入数	製品名	入数
MST-nano (インターフェイス、I/F)	1	タブレット	1
二次元バーコードリーダー	1	micro USB ケーブル	1
電源アダプタ	1	シガーケーブル	1
ワニ口アダプタ	1	クイックスタートガイド	1
キャリングケース	1		

1.2. 各部名称

◆MST-nano



機能	内容
1 LEDライトスイッチ	スイッチを押すと裏面のLEDライトが点灯します。
2 LEDライト	スイッチを押すと点灯します。LEDライトの電源は本体をmicro USBケーブルでパソコンに接続して充電します。また、車両のDLCからも充電可能です。
3 銘板ラベル	本体のシリアル番号が記載されています。
4 micro USB ポート	micro USBケーブルでパソコン、タブレットに接続します。アップデート等で使用します。
5 ステータスランプ	緑⇔赤色の交互に点灯します。(通信待機状態) 車両DLCに接続すると青色に点灯します。

1.3. メインメニュー画面

ホームアプリ起動時に一番最初に表示する画面です。

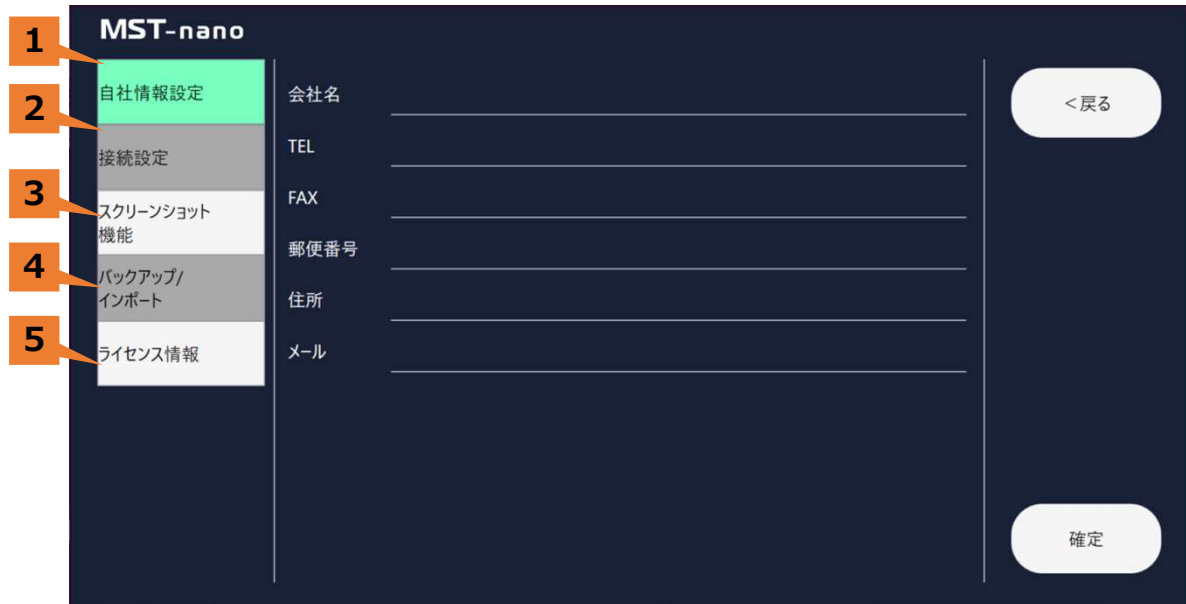


	機能	内容
1	車両診断	各種診断を行います。
2	特殊機能	メンテナンスモード、DPF 強制再生、エーミングを行います。
3	更新	I/F と接続してソフトウェアの更新を行います。
4	保存データ	保存した故障コードやデータモニタなどのデータを再生（表示）、削除することができます。
5	ユーザーガイド	各種取扱説明書などを表示します。
6	ユーティリティ	自社情報設定や接続設定など各種設定を行います。

2. 各種設定（ユーティリティ）

2.1. 各種設定

各種機能の設定を行います。



【各種設定画面】

	機能	内容
1	自社情報設定	自社情報を登録します。
2	接続設定	Bluetoothによる接続設定を行います。
3	スクリーンショット設定	現在、本機能は使用しません。 タブレットの電源ボタンを長押ししながら音量(+)ボタンを押すことでスクリーンショットができます。 撮影データは「エクスプローラー」→「ピクチャ」→「Screenshot」に保存されます。
4	バックアップ/インポート	データのバックアップを取ります。 バックアップしたデータをインポートします。
5	ライセンス情報	ライセンス情報を表示します。

2.1.1. 自社情報設定

自社情報を登録する		
1	<p>「自社情報設定」を選択します。 各入力フォームをタップして入力します。</p>	
2	<p>入力後「確定」ボタンを選択します。 「登録内容を更新しました」のメッセージが表示されれば登録完了です。</p>	

2.1.2. 接続設定

BluetoothによるMST-nanoの登録		
1	<p>車両のイグニッションSWがOFFの状態です。車両診断コネクタにMST-nano本体 (以下I/F) を接続します。I/F接続後、イグニッションSWをONにします。</p>	
2	<p>タブレットのアプリを起動します。</p>	

「ユーティリティ」 - 「接続設定」を選択します。

3

The screenshot shows the MST-nano utility menu. On the left, there is a vertical list of menu items: '自社情報設定' (Company Information Settings), '接続設定' (Connection Settings), 'スクリーンショット機能' (Screenshot Function), 'バックアップ/インポート' (Backup/Import), and 'ライセンス情報' (License Information). The '接続設定' item is highlighted with a red rectangular box. To the right of the menu is a form with input fields for '会社名' (Company Name), 'TEL', 'FAX', '郵便番号' (Postal Code), '住所' (Address), and 'メール' (Email). There are '<戻る' (Back) and '確定' (Confirm) buttons on the right side.

「デバイスの検索とペアリング」を選択します。

4

The screenshot shows the Bluetooth settings screen. At the top, it says '車両と通信するためのBluetoothの設定を行って下さい。' (Please set up Bluetooth for communication with the vehicle). Below that, it says '初回設定時は「デバイスの検索とペアリング」から設定を行って下さい。' (During the first setup, please set up from 'Device Search and Pairing'). A red box highlights the 'デバイスの検索とペアリング' (Device Search and Pairing) option. Below this, there is a section for 'ペアリング済みの場合は以下のリストから使用するiFボックスを設定して下さい。' (If you have already paired, please set the iF box to use from the following list). There are '設定' (Settings) and '一覧更新' (Refresh List) buttons at the bottom.

検索が始まるのでしばらく待ちます。

5

The screenshot shows the Bluetooth device search results screen. At the top, it says 'Bluetoothデバイス検索結果' (Bluetooth Device Search Results). Below that, it says 'MST-nano' and 'デバイスを検索しています。しばらくお待ち下さい。' (Searching for devices. Please wait a moment). There is a table with one column labeled 'デバイス名' (Device Name). At the bottom, there are three buttons: 'ペアリングを行う' (Perform Pairing), 'キャンセル' (Cancel), and '更新' (Refresh).

デバイスが見つければ一覧に表示されます。

6

The screenshot shows the Bluetooth device search results screen. At the top, it says 'Bluetoothデバイス検索結果' (Bluetooth Device Search Results). Below that, it says 'MST-nano' and 'デバイスを検索しています。しばらくお待ち下さい。' (Searching for devices. Please wait a moment). There is a table with one column labeled 'デバイス名' (Device Name) and one row containing the text 'MST-nano 36-000000'. At the bottom, there are three buttons: 'ペアリングを行う' (Perform Pairing), 'キャンセル' (Cancel), and '更新' (Refresh).

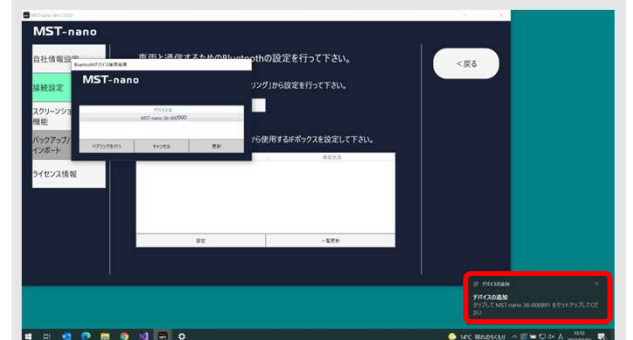
ペアリングを行いたいデバイス名を選択後、ペアリングを行うボタンを選択します。

7



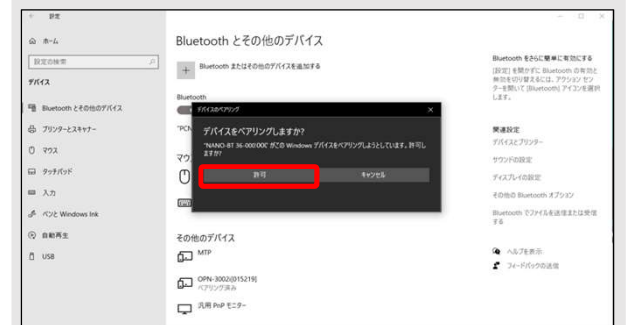
Windowsから通知が来るので選択します。

8



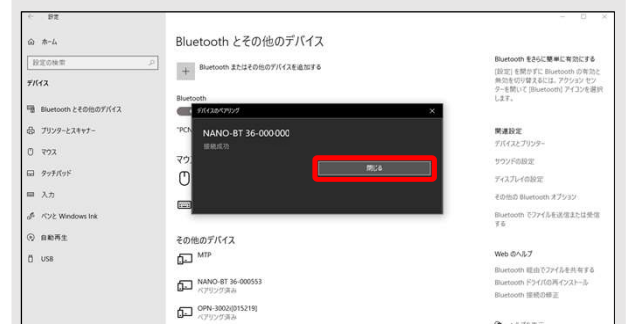
許可を選択します。

9



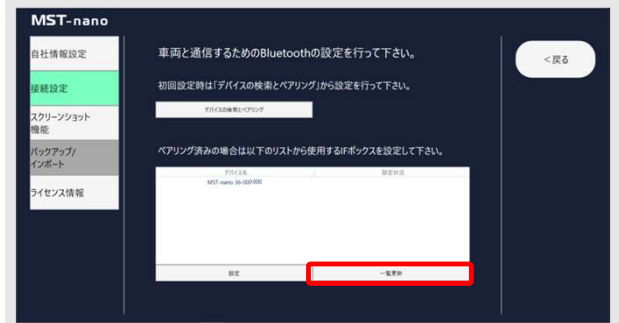
閉じるを選択します。

10



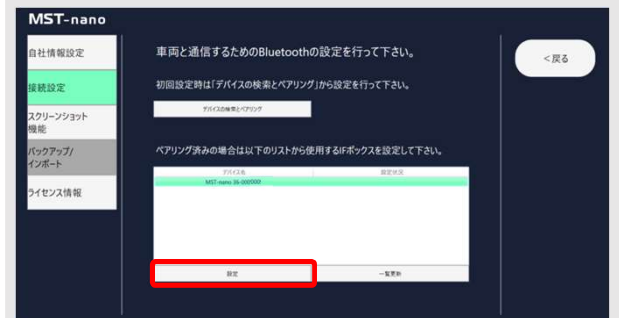
ペアリングを行ったデバイスが一覧に表示されます。
(表示されない場合は一覧更新ボタンをクリックして下さい。)

11



一覧から使用するデバイスを選択後、
設定を選択します。

12



OKを選択します。

13



設定状況が○になれば接続設定完了です。

14



2.1.3. バックアップ/インポート

データのバックアップ（保存）

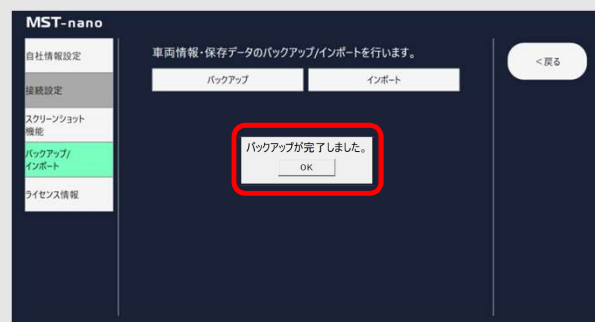
1

「ユーティリティ」 - 「バックアップ / インポート」 を選択します。


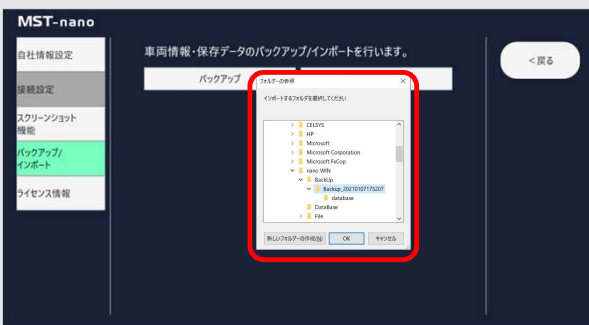
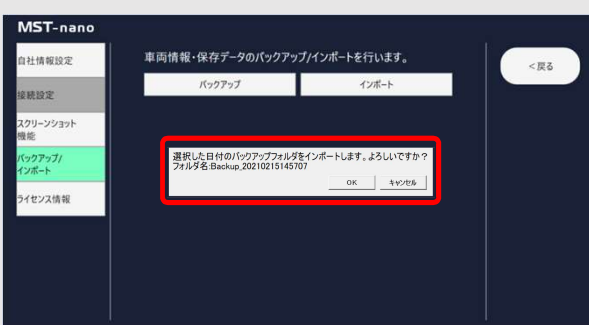



2

「バックアップ」をタップします。
「バックアップが完了しました。」のメッセージが表示されればバックアップ完了です。



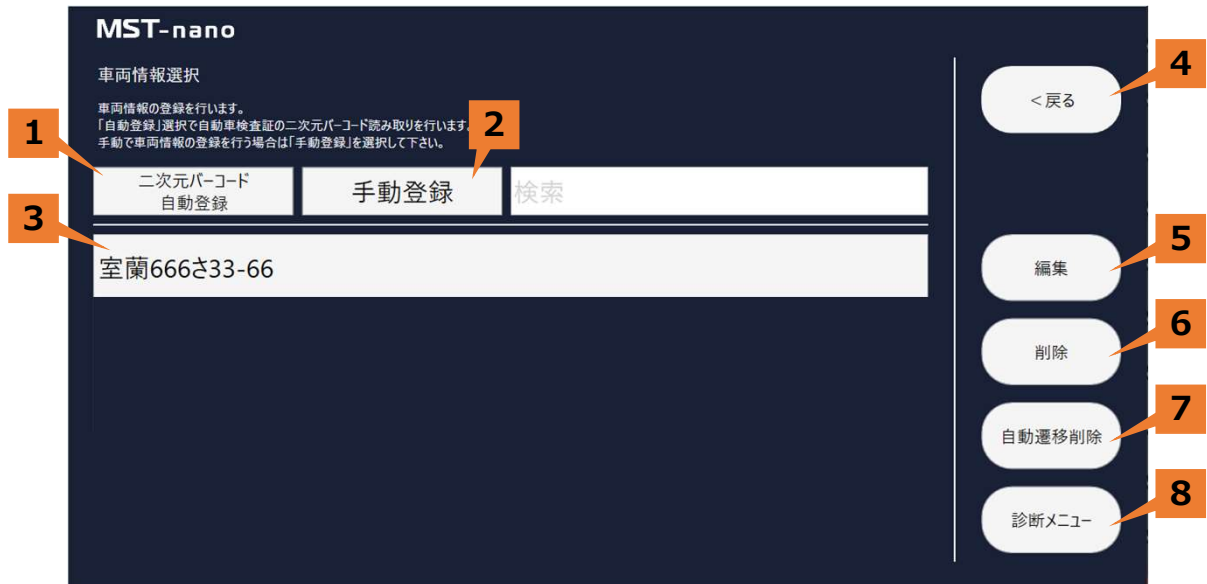
データのインポート（復元）

1	「ユーティリティ」 - 「バックアップ / インポート」 を選択します。	 The screenshot shows the MST-nano app interface. On the left, there is a navigation menu with items: '会社情報設定', '接続設定', 'スクリーンショット機能', 'バックアップ/インポート', and 'ライセンス情報'. The 'バックアップ/インポート' item is highlighted in green. On the right, there is a main screen with the title '車両情報・保存データのバックアップ/インポートを行います。' and two buttons: 'バックアップ' and 'インポート'. The 'インポート' button is highlighted with a red box.
2	「インポート」 をタップします。 バックアップされたデータ一覧のダイアログが表示されます。 一覧から復元したいデータ欄をタップします。	 The screenshot shows the MST-nano app interface. A dialog box titled 'ファイル選択' is open in the center, displaying a list of files and folders. The 'Backup' folder is selected. The dialog has 'OK' and 'キャンセル' buttons. The 'インポート' button from the previous screen is still visible and highlighted with a red box.
3	確認メッセージが表示されます。 選択したデータが正しければ「OK」 をタップします。	 The screenshot shows the MST-nano app interface. A dialog box with the text '選択した目的のバックアップフォルダをインポートします。よろしいですか？ フォルダ名: Backup_20211021145707' is displayed. The dialog has 'OK' and 'キャンセル' buttons. The 'インポート' button from the previous screen is still visible and highlighted with a red box.
4	「インポートが完了しました。」 が表示されれば復元の完了です。	 The screenshot shows the MST-nano app interface. A dialog box with the text 'インポートが完了しました。' is displayed. The dialog has an 'OK' button. The 'インポート' button from the previous screen is still visible and highlighted with a red box.

3. 車両診断

3.1. 車両情報選択

ナンバー情報の登録を行います。



【車両情報選択画面】

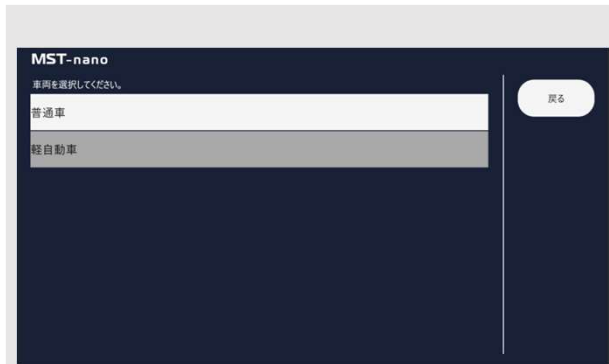
機能	内容
1 二次元バーコード 自動登録	車検証の二次元バーコード読取りによるナンバー情報登録を行います。
2 手動登録	手動によるナンバー情報の自動登録を行います。
3 登録車両一覧	登録した車両情報が表示されます。
4 戻る	メインメニュー画面へ遷移します。
5 編集	新規車両で登録された車両情報の編集を行います。
6 削除	登録した車両情報の削除を行います。
7 自動遷移削除	車両情報登録後に一度診断を行うと、診断メーカーや車種などの情報が車両情報に関連付けされ、2回目からの診断時には選択することなく診断ソフトのメインメニューまで遷移します。 本機能では関連付けされた遷移情報を削除できます。
8 診断メニュー	診断メニュー画面へ遷移します。

3.1.1. 車両情報の登録

自動車検査証の二次元バーコード読み取りによる車両情報自動登録（二次元バーコードリーダー）		
1	<p>「二次元バーコード自動登録」を選択します。</p>	
2	<p>二次元バーコード読取テスト画面が表示されます。二次元バーコードリーダーで画面上にある二次元バーコードの読取を行います。</p> <p>※テキストボックスに「二次元バーコード読み取りテスト 0 1 2 3 0123 ABC ABC abc --- ///」が表示されれば読取テスト完了です。</p>	
3	<p>読取後、「車検証二次元バーコード読み取りをしてください。」ダイアログが表示されます。「OK」を選択します。</p>	
4	<p>「二次元バーコードの読み取り値に文字化けがあった場合は、二次元バーコードリーダーの設定を見直してください。」ダイアログが表示されます。「OK」を選択し、二次元バーコードリーダーの設定を見直す必要があります。</p>	

「普通車」「軽自動車」選択画面が表示されますので、適合する項目を選択します。

5



①普通自動車の場合
画面の赤枠内の5つの二次元バーコードを
①二次元バーコード3つ
②二次元バーコード2つ
の順に読み取りを行います。

①



6

②軽自動車の場合
画面の赤枠内の3つの二次元バーコードを
①
②
③
の順に読み取りを行います。

②



手動による車両情報自動登録

1

「手動登録」を選択します。

MST-nano
車両情報選択
車両情報の登録を行います。
「自動登録」選択で自動登録画面の二次元コード読み取りを行います。
手動で車両情報の登録を行う場合は「手動登録」を選択して下さい。

二次元バーコード
自動登録
手動登録
検索

室蘭666さ33-66

<戻る
編集
削除
自動遷移削除
診断メニュー

2

登録番号を入力エリアから選択します。

- ①使用の本拠の位置
- ②分類番号
- ③事業文字
- ④一連指定番号

①から④の順に入力すると自動で画面が切り替わります。

入力欄をタップすることで、その入力画面に切り替えることもできます。
入力が完了したら「次へ」を選択します。

※④を入力していれば、全ての入力欄が入力されていなくても「次へ」を選択してメーカー選択画面に遷移することができます。

MST-nano
車両情報 登録番号入力画面

① ② ③ ④

品川 1 2 3 あ 1 2 - 3 4

履歴 あ か さ た な は ま や ら わ

札幌	函館	室蘭
帯広	釧路	北見
旭川	宮城	仙台
福島	会津	いわき

キャンセル
↑
↓
次へ>

3

メーカー・車種を入力エリアから選択します。

- ①メーカー
- ②車種

①②の順に入力すると自動で画面が切り替わります。
入力が完了したら「確定」を選択します。

MST-nano
車両情報 登録番号入力画面

① ②

メーカー:
車種:
メーカーを選択してください

英数字 あ か さ た な は ま や ら わ

トヨタ	日産	ホンダ
三菱	スズキ	ダイハツ
マツダ	スバル	VW
AUDI	MERCEDES	BMW

<戻る
↑
↓
確定

4

車両情報登録が完了しました。

MST-nano
車両情報選択
車両情報の登録を行います。
「自動登録」選択で自動登録画面の二次元コード読み取りを行います。
手動で車両情報の登録を行う場合は「手動登録」を選択して下さい。


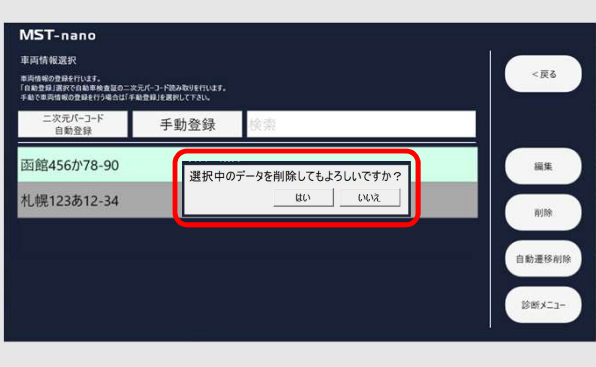

二次元バーコード
自動登録
手動登録
検索

室蘭666さ33-66

<戻る
編集
削除
自動遷移削除
診断メニュー

3.1.2. 車両情報の削除

登録をした車両の削除を行う

<p>1</p>	<p>登録車両一覧から削除したい車両を選択します。 車両が選択の状態です。「削除」を選択します。</p> <p>※選択した車両情報は、右上に表示されます。</p>	 <p>MST-nano 車両情報選択 車両情報の登録を行います。 「自動登録」画面で自動登録済みの二次元バーコード読み取りを行います。 手動で車両情報の登録を行う場合は「手動登録」を選択して下さい。</p> <p>二次元バーコード 自動登録 手動登録 検索</p> <p>函館456か78-90 札幌123あ12-34</p> <p><戻る 編集 削除 自動遷移削除 診断メニュー</p>
<p>2</p>	<p>確認ダイアログが表示されます。 選択した車両情報に間違いがなければ「はい」を選択します。</p>	 <p>MST-nano 車両情報選択 車両情報の登録を行います。 「自動登録」画面で自動登録済みの二次元バーコード読み取りを行います。 手動で車両情報の登録を行う場合は「手動登録」を選択して下さい。</p> <p>二次元バーコード 自動登録 手動登録 検索</p> <p>函館456か78-90 札幌123あ12-34</p> <p>選択中のデータを削除してもよろしいですか? はい いいえ</p> <p><戻る 編集 削除 自動遷移削除 診断メニュー</p>
<p>3</p>	<p>登録車両一覧から選択した車両情報が削除されます。</p> <p>※削除を行った場合、その車両に関する履歴情報も削除されます。</p>	 <p>MST-nano 車両情報選択 車両情報の登録を行います。 「自動登録」画面で自動登録済みの二次元バーコード読み取りを行います。 手動で車両情報の登録を行う場合は「手動登録」を選択して下さい。</p> <p>二次元バーコード 自動登録 手動登録 検索</p> <p>札幌123あ12-34</p> <p><戻る 編集 削除 自動遷移削除 診断メニュー</p>

3.2. 診断メニュー

診断メニューからは以下の機能が行えます。

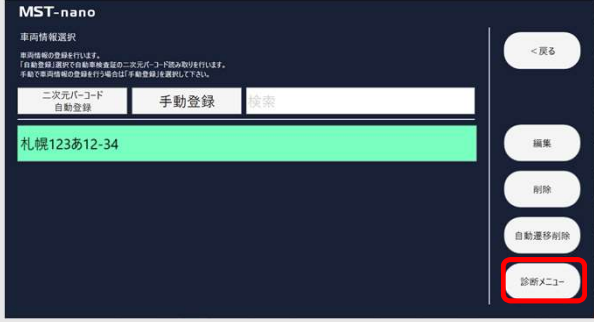

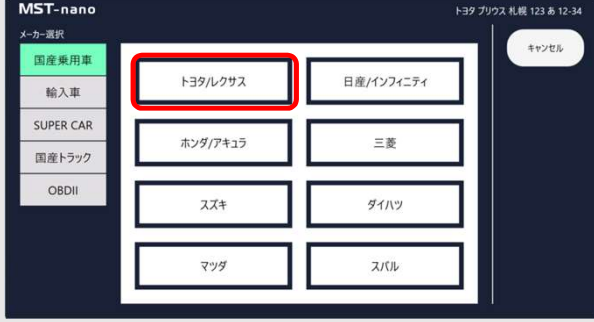
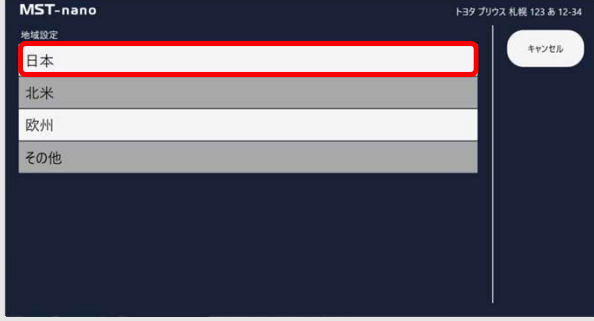


【診断メニュー画面】

機能	内容
1	保存データ履歴 履歴一覧から保存データの表示を行います。
2	戻る 車両情報選択画面へ遷移します。
3	履歴削除 履歴から保存データの削除を行います。
4	I/F設定 I/Fボックスのブザー音のON/OFF設定を行います。
5	I/F情報 本体シリアル番号、OSバージョン、ダウンロード及び本体保証期間が表示されます。
6	診断 診断を行います。
7	レポート作成 6システム (エンジン・HV/PHV/EV・トランスミッション・ABS・パワーステアリング・エアバッグ) の自己診断データ取得、日常点検項目の入力、総合点検結果の印刷・保存を行います。

3.2.1. 診断ソフトのメインメニュー表示

※以下からはトヨタを例に説明します。

診断から診断ソフトのメインメニュー表示を行う	
1	車両情報を選択した状態で「診断メニュー」を選択します。 
2	「診断」を選択します。 
3	メーカー選択画面から「トヨタ/レクサス」を選択します。 
4	地域設定画面から、通常は「日本」を選択します。 ※ 逆輸入車を診断する場合は「北米」を選択するなど車種に応じて選択します。 

5

車両を自動で検出するか手動で選択するかを選択する画面が表示されます。
自動検出は、車両情報を車両から検出する機能ですが、一部車種や一部カーメーカーの車両は読み込むことができません。その際は、手動選択にて車両情報を選択ください。



6

[ブランド] - [車名] - [車型] - [エンジン型式] [オプション] 選択画面が表示されますので、適合する項目を選択します。



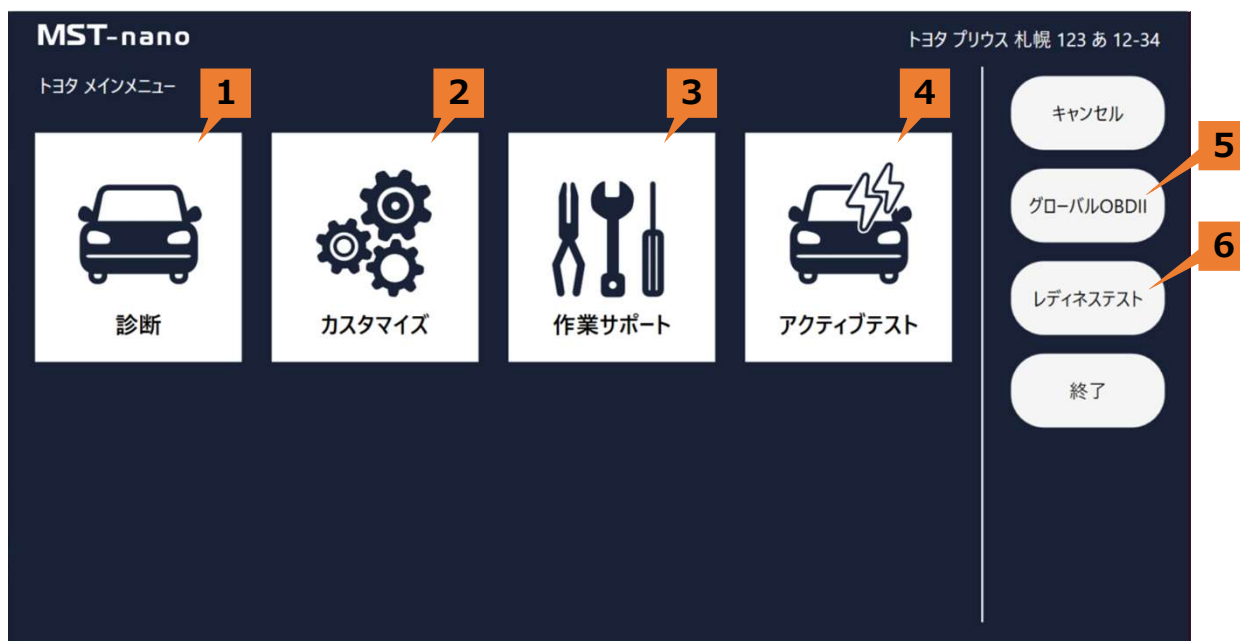
7

診断ソフトのメインメニューが表示されます。



3.3. 診断ソフトメインメニュー


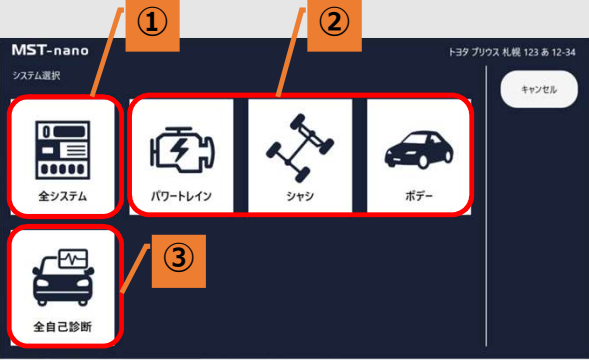
各診断ソフトのメインメニューからは以下の機能が行えます。

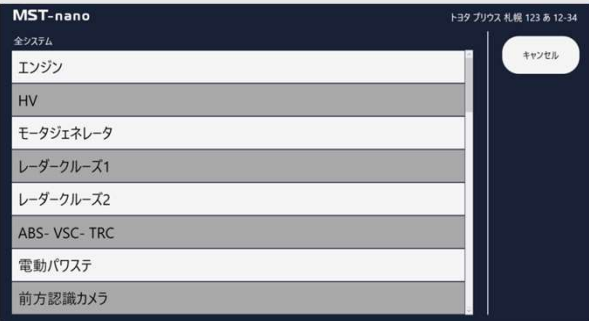


【各診断ソフトのメインメニュー画面】

	機能	内容
1	診断	各システムの故障コードの読取、消去を行います。
2	カスタマイズ	シートベルト警告音のON/OFFなど各システムの設定変更を行います。
3	作業サポート	ブレーキオイルのエア抜きや整備モード移行など、学習や初期化などを行います。
4	アクティブテスト	電動ファン駆動やパワーバランステストなどの機能のテストを行います。
5	グローバルOBDII	グローバルOBDIIソフトでの診断やデータモニタなどを行います。
6	レディネステスト	排ガス関連の制御が正しく許容範囲内の状態にあるかの確認を行います。

3.3.1. 故障コードの読み取り

<p>1</p>	<p>メインメニューから「診断」を選択します。</p>	
<p>2</p>	<p>システム選択画面が表示されます。</p> <p>①全システム すべてのシステムへ個別にアクセスできます。</p> <p>②パワートレイン・シャシ・ボデー 系統別に区分された項目から個別にアクセスできます。</p> <p>③全自己診断 対応しているすべてのシステムの故障コードの有無を自動で検出できます。</p>	

<p>「全システム」を選択した場合</p>		
<p>1</p>	<p>システム選択画面から「全システム」を選択します。</p>	
<p>2</p>	<p>全システム選択画面が表示されます。 診断を行うシステムを選択します。</p>	

3

選択したシステムの診断メニューが表示されます。
「故障コードの読取」を選択します。



読取結果が表示されます。

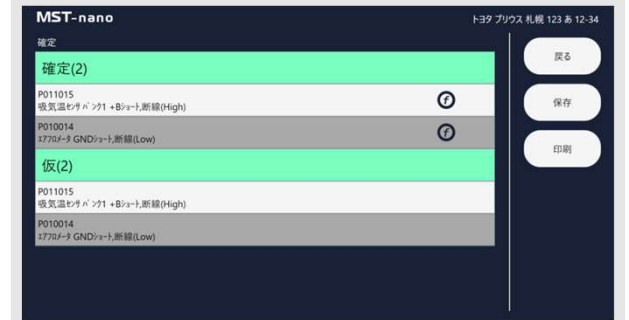
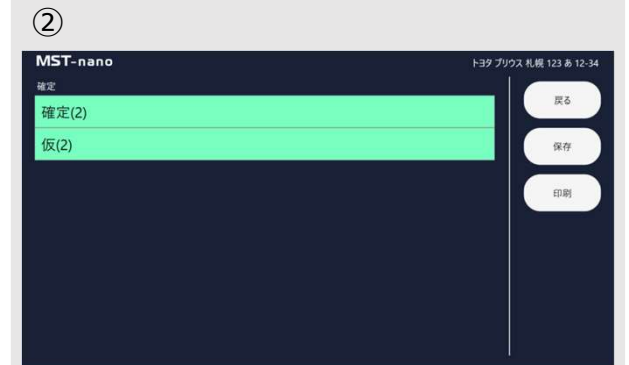
①故障コードが記憶されていない場合



②故障コードが記憶されている場合
分類された各欄をタップすると故障コードが表示
されます。

4

※診断されたメーカーにより故障コードの分類は異
なります。
仮コードとは故障コードと確定される前の一時的な
故障コードです。



各故障コードをタップすると詳細表示に切替えるこ
とができます。

5



「パワートレイン」「シャシ」「ボデー」を選択した場合

故障コードの読取・消去、またはデータモニタを行いたいシステムを系統別一覧から 選択します。

システム選択画面から診断したい系統を選択します。

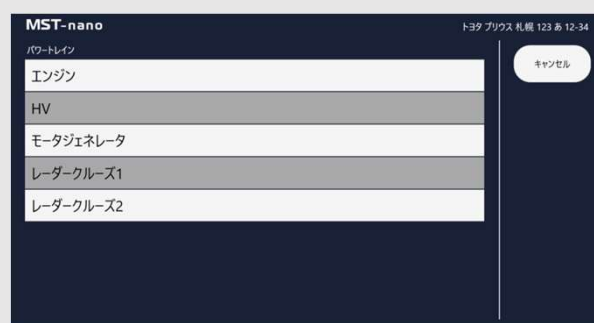
1



選択した系統に区分されるシステムの一覧が表示されます。

診断したいシステムを選択します。

2



選択したシステムの診断メニューが表示されます。「故障コードの読取」を選択します。

3



読取以降の手順は、21ページの(6)~と同様です。

4

「全自己診断」を選択した場合

車両に搭載されている対応している全システムの故障コードの読取と消去を一括で行う項目です。

システム選択画面から「全自己診断」を選択します。

1



診断結果が画面左上に表示されます。詳細の確認は「診断結果」を選択します。

①故障コードが記憶されているシステムがある場合は「システム数+システム異常あり!」が表示されます。

2

②異常がない場合は「全システム異常なし」が表示されます。



診断結果の一覧が表示されます。

①異常があるシステムは「故障コード数+DTC」が表示されます。

②故障コードが記憶されていないシステムは「OK」が表示されます。

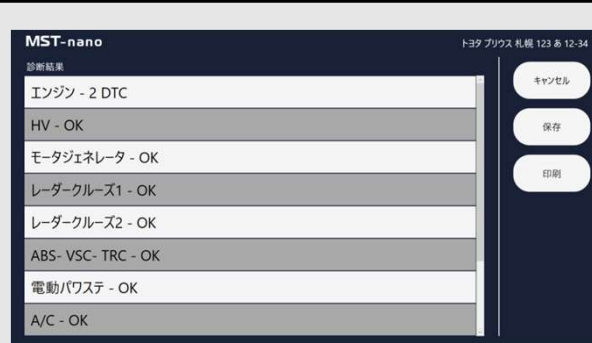
3



故障コードを確認する

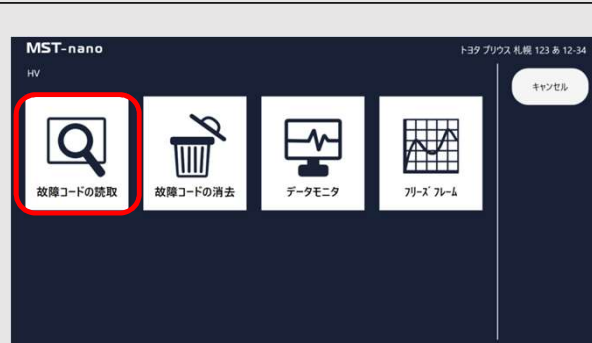
1

故障コードを確認する場合は、確認するシステム名を選択します。



2

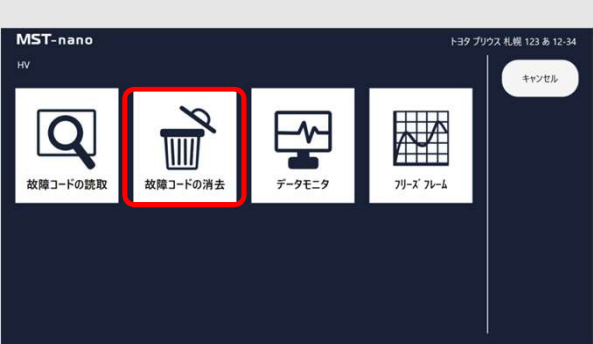

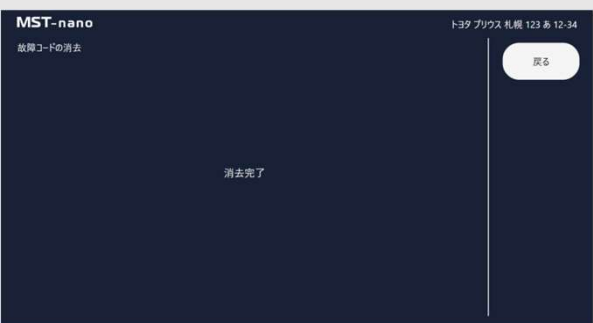
選択したシステムの診断メニューが表示されます。「故障コードの読取」を選択します。



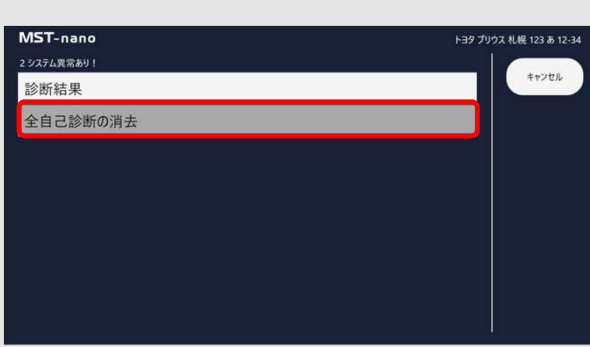

3

読取以降の手順は、21ページの(6)~と同様です。

3.3.2. 故障コードの消去

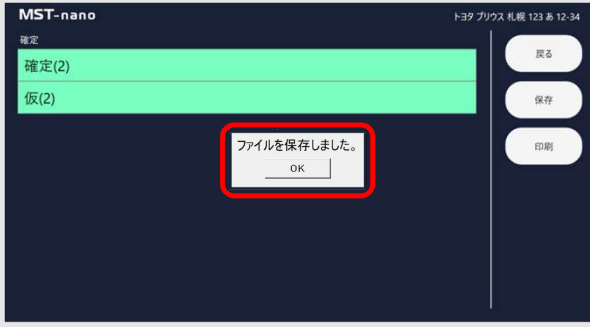
個別システムからの故障コード消去	
1	<p>システム毎の診断メニュー画面から「故障コードの消去」を選択します。</p> 
2	<p>「故障コードの消去」画面が表示されます。消去を行う場合は「実行」、中止する場合は「中止」を選択します。</p> 
3	<p>「実行」を選択すると「自己診断の消去中」のメッセージが表示された後、消去完了画面が表示されます。</p> 

全自己診断からの故障コードの消去

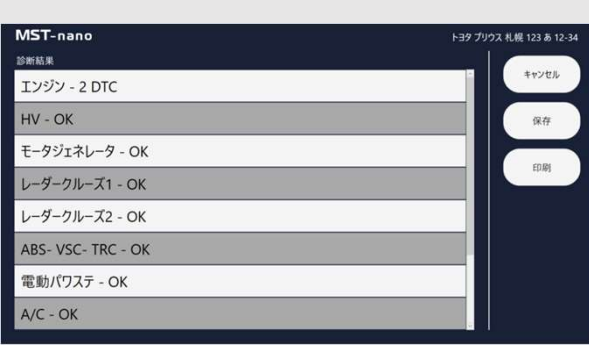

1	全自己診断後の画面から「全自己診断の消去」を選択します。	
2	消去選択後の手順は「個別システムからの消去」手順と同様です。 消去が完了すると (1) の画面に戻ります。 ※画面左上の診断結果は、全てのシステムの故障コードが消去された場合には「全システム異常なし」、されていない場合は「○システム異常あり！」が表示されます。	

3.3.3. 故障コードの保存

個別システムからの故障コードの保存

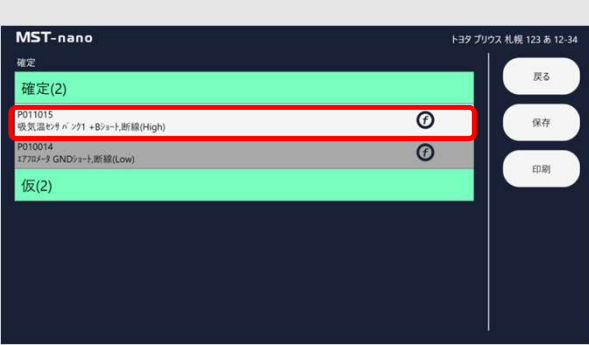
1	故障コード読取結果画面から「保存」を選択します。	
2	「ファイル保存」ダイアログが表示されファイルが保存されます。	

全自己診断からの故障コードの保存

1	全自己診断後の診断結果から、保存するシステム名を選択します。	
2	選択したシステムの診断メニューが表示されます。「故障コードの読取」を選択します。	
3	読取以降の手順は、26ページの(1)~と同様です。	


3.3.4. フリーズフレームデータ

故障コード読み取り画面からの確認

1	故障コード読取画面で故障コードの右端に「f」アイコンが表示されているコードにフリーズフレームデータが保存されています。「f」アイコンが表示されている故障コードを選択します。	
---	--	--

故障コード詳細画面から「フリーズフレーム」を選択します。

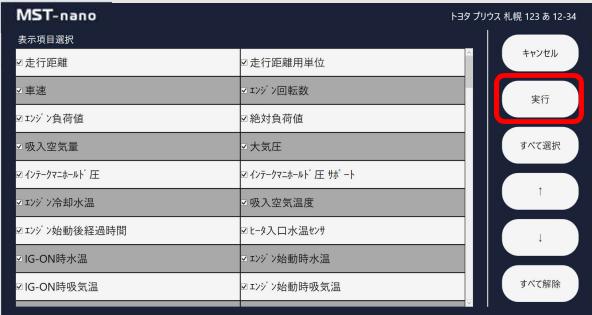
2



表示項目選択画面が表示されます。表示項目の左端にあるチェックボックスをタップするとチェックのOFF/ONができます。表示したい項目にチェックが入っていることを確認して「実行」を選択します。

3

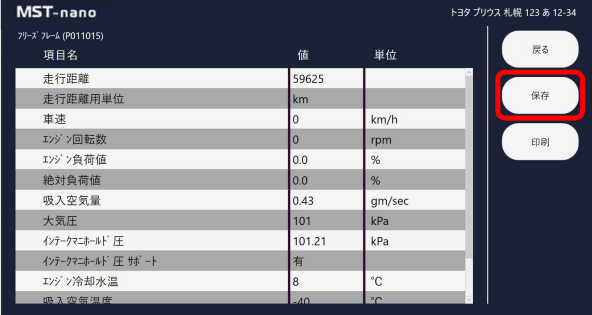
※画面右のメニューから「すべて選択」「すべて解除」を選択することにより、一括でチェックのOFF/ONができます。



「イニシャライズ中しばらくお待ち下さい」のメッセージが表示された後、フリーズフレームデータが表示されます。フリーズフレームデータを保存する場合は「保存」を選択します。

4

※複数の故障コードのフリーズフレームデータを保存する場合は、それぞれの故障コード毎に (3) ~ (5) の操作を行い保存する必要があります。



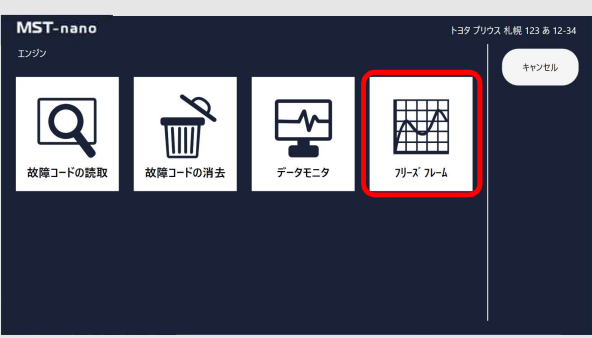
項目名	値	単位
走行距離	59625	
走行距離用単位	km	
車速	0	km/h
エンジン回転数	0	rpm
エンジン負荷値	0.0	%
絶対負荷値	0.0	%
吸入空気量	0.43	gm/sec
大気圧	101	kPa
インターマニホールド圧	101.21	kPa
インターマニホールド圧サージ	有	
エンジン冷却水温	8	°C
吸入空気温度	40	°C

システム毎の診断メニュー画面からの確認

診断メニュー画面で「フリーズフレーム」を選択します。



1

「フリーズフレーム」選択後以降の手順は、~と同様です。



3.3.5. DTCヘルプ機能

DCTヘルプ機能の表示

1	<p>故障コード読取画面で故障コードの右端に「i」アイコンが表示されているコードを選択します。</p>	
2	<p>故障コード詳細画面にヘルプが表示されます。 (例：ホンダソフトの場合)</p> <p>※ホンダソフトの場合は、ホンダの故障コードに対するOBD2コードもヘルプ画面に表示されます。</p>	

3.3.6. データモニタ

データモニタの表示

<p>1</p>	<p>診断メニュー画面で「データモニタ」を選択します。</p>																																											
<p>2</p>	<p>表示項目選択画面が表示されます。 表示項目の左端にあるチェックボックスをタップするとチェックのOFF/ONができます。 表示したい項目にチェックが入っていることを確認して「実行」を選択します。</p> <p>※画面右のメニューから「すべて選択」「すべて解除」を選択することにより、一括でチェックのOFF/ONができます。</p>																																											
<p>3</p>	<p>選択した表示項目のデータモニタが実行されます。 値は、「最大」「最小」「平均値」が表示されます。</p>	<table border="1" data-bbox="933 1131 1396 1400"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>値</th> <th>単位</th> <th>最小値</th> <th>平均値</th> <th>最大値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>走行距離</td> <td>58302</td> <td></td> <td>58302</td> <td>58302</td> <td>58302</td> </tr> <tr> <td>走行距離用単位</td> <td>km</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>車速</td> <td>0</td> <td>km/h</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>エンジン回転数</td> <td>0</td> <td>rpm</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>エンジン負荷値</td> <td>0.0</td> <td>%</td> <td>0.0</td> <td>0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>吸入空気量</td> <td>0.43</td> <td>gm/sec</td> <td>0.43</td> <td>0.43</td> <td>0.43</td> </tr> </tbody> </table>	項目	値	単位	最小値	平均値	最大値	走行距離	58302		58302	58302	58302	走行距離用単位	km					車速	0	km/h	0	0	0	エンジン回転数	0	rpm	0	0	0	エンジン負荷値	0.0	%	0.0	0	0.0	吸入空気量	0.43	gm/sec	0.43	0.43	0.43
項目	値	単位	最小値	平均値	最大値																																							
走行距離	58302		58302	58302	58302																																							
走行距離用単位	km																																											
車速	0	km/h	0	0	0																																							
エンジン回転数	0	rpm	0	0	0																																							
エンジン負荷値	0.0	%	0.0	0	0.0																																							
吸入空気量	0.43	gm/sec	0.43	0.43	0.43																																							

データモニタのグラフ表示切替

1

データモニタ表示画面で「数値・グラフ切替」を選択します。



2

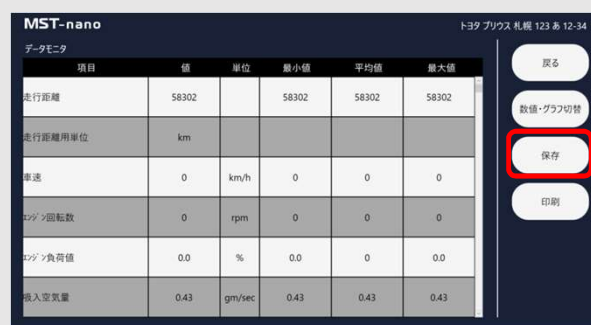
データモニタ表示がグラフ表示に切替わります。「数値・グラフ切替」を選択すると数値表示に戻ります。



データモニタの保存

1

データモニタ表示画面で「保存」を選択します。データモニタの「開始」選択時からのデータが保存されます。




2

「ファイル保存」ダイアログが表示されファイルが保存されます。



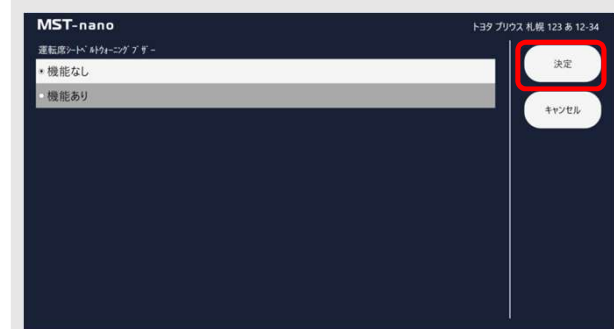
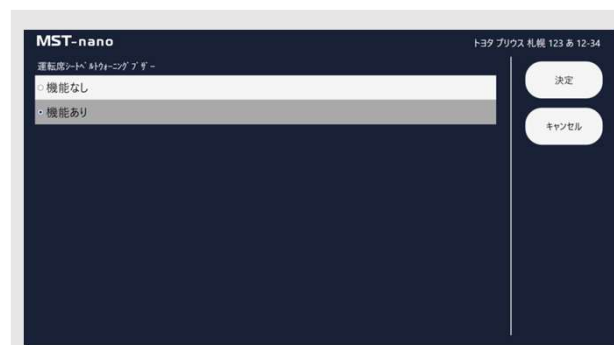
3.3.7. カスタマイズ

トヨタ車のシートベルトウォーニングブザーの設定変更

1	ソフト毎のメインメニュー画面で「カスタマイズ」を選択します。	 <p>The screenshot shows the MST-nano main menu with four icons: 診断 (Diagnosis), カスタマイズ (Customize), 作業サポート (Work Support), and アクティブテスト (Active Test). The 'カスタマイズ' icon is highlighted with a red box. On the right side, there are buttons for キャンセル (Cancel), グローバルOBDII (Global OBDII), レディネステスト (Readiness Test), and 終了 (End).</p>
2	注意事項が表示されますので、確認して「同意する」を選択します。	 <p>The screenshot shows a warning screen with the text: 'この機能は車両の状態によって設定変更出来ない場合や ECUにダメージを与える可能性があります。同意した上、自己責任で行って下さい。' (This function may not be able to change settings depending on the vehicle's condition, or it may damage the ECU. Please agree and take responsibility for your actions.) On the right side, there are buttons for 同意する (I agree) and 同意しない (I do not agree). The '同意する' button is highlighted with a red box.</p>
3	カスタマイズシステム一覧が表示されます。カスタマイズを実行するシステムを選択します。	 <p>The screenshot shows the customization system selection screen with the following options: 運転席シートベルトウォーニングブザー (Driver's seat belt warning buzzer), 助手席シートベルトウォーニングブザー (Passenger's seat belt warning buzzer), テール消し忘れウォーニングブザー (Tail light off warning buzzer), and フラッシュ音量調整 (Flasher volume adjustment). On the right side, there is a button for キャンセル (Cancel).</p>

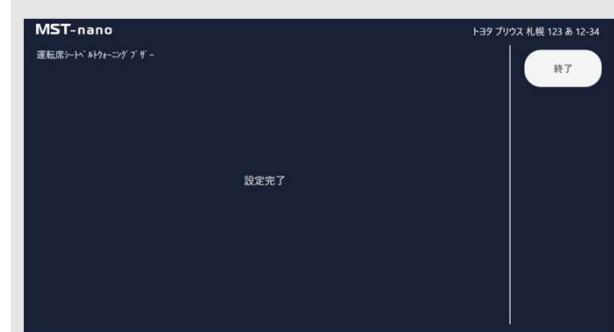
現在の設定が表示されます。
設定を変更して「決定」を選択します。
「キャンセル」を選択した場合は変更されません。

4



現在の設定が表示されます。
設定を変更して「決定」を選択します。
「キャンセル」を選択した場合は変更されません。

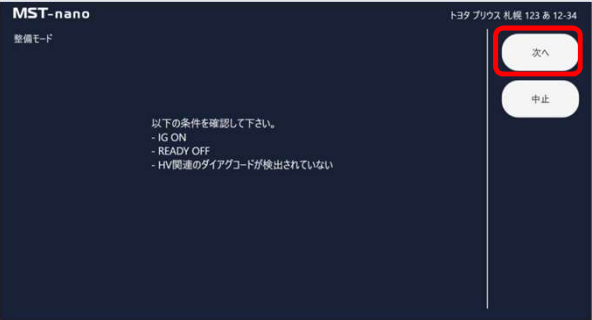
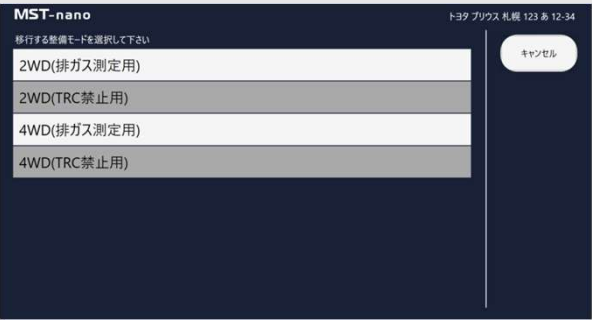

5




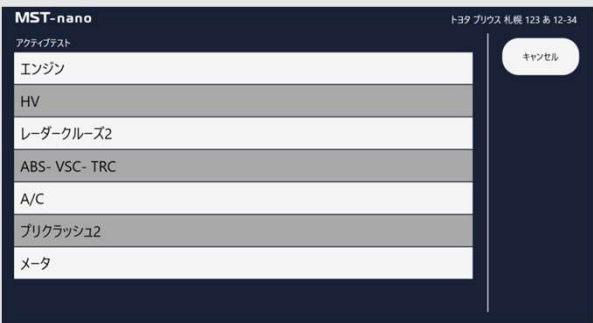
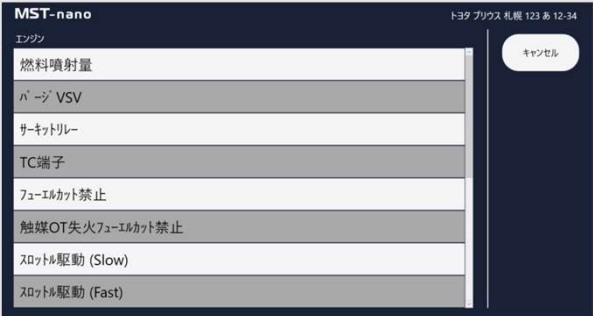

3.3.8. 作業サポート

トヨタ車のハイブリット整備モードの設定変更

1	ソフト毎のメインメニュー画面で「作業サポート」を選択します。	
2	作業サポートシステム一覧が表示されます。 作業サポートを実行するシステムを選択します。	
3	作業サポート項目一覧が表示されます。 実行する項目を選択します。	
4	機能説明が表示されます。 確認して「次へ」を選択します。	

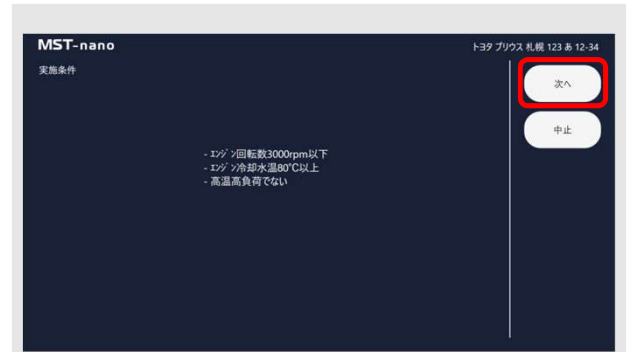
<p>5</p>	<p>前提条件が表示されます。 確認して「次へ」を選択します。</p>	
<p>6</p>	<p>実行する項目を選択します。</p> <p>※「排ガス測定用」を実行すると「TRC 禁止」も同時に行われます。 作業サポートの手順は必ず車両整備書を参照して行ってください。間違った操作を行うと故障の原因になります。</p>	
<p>7</p>	<p>整備モードへ移行しました。 ブレーキペダルを踏んで、イグニッションスイッチを押してエンジンを始動します。</p>	

3.3.9. アクティブテスト

アクティブテスト	
1	<p>ソフト毎のメインメニュー画面で「アクティブテスト」を選択します。</p> 
2	<p>アクティブテストシステム一覧が表示されます。 アクティブテストを実行するシステムを選択します。</p> 
3	<p>アクティブテスト項目一覧が表示されます。 実行する項目を選択します。</p> 
4	<p>詳細が表示されます。 確認して「次へ」を選択します。</p> 

実施条件が表示されます。
確認して「次へ」を選択します。

5




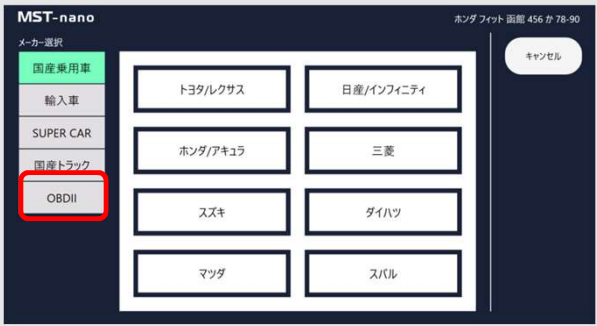


アクティブテスト画面が表示されます。
プルダウンボタンをタップすると内容を選択できます。

※アクティブテストは必ず車両整備書を参照して行ってください。
間違った操作を行うと故障の原因になります。

6



3.3.10. レディネステスト

レディネステスト																																						
1	<p>診断メニューから「診断」を選択します。</p>	 <p>MST-nano トヨタ プリウス 札幌 123 8 12-34</p> <p>診断メニュー 保存データ履歴</p> <p><戻る 履歴削除 V/F設定 V/F情報 診断 レポート作成</p>																																				
2	<p>メーカー選択画面から「OBD II」を選択します。</p>	 <p>MST-nano ホンダ フィット 函館 456 7 78-90</p> <p>メーカー選択</p> <p>国産乗用車 輸入車 SUPER CAR 国産トラック OBDII</p> <p>トヨタ/ルクス 日産/インフィニティ ホンダ/アキュラ 三菱 スズキ ダイハツ マツダ スバル</p> <p>キャンセル</p>																																				
3	<p>「レディネステスト」を選択します。</p>	 <p>MST-nano ホンダ フィット 函館 456 7 78-90</p> <p>メーカー選択</p> <p>国産乗用車 輸入車 SUPER CAR 国産トラック OBDII</p> <p>グローバルOBDII レディネステスト</p> <p>キャンセル</p>																																				
4	<p>レディネステスト画面が表示されます。</p>	 <p>MST-nano ホンダ フィット 函館 456 7 78-90</p> <p>レディネステスト</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>値</th> <th>項目</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MIL</td> <td>○</td> <td>点火モータ</td> <td>Spark</td> </tr> <tr> <td>確定故障</td> <td>✓</td> <td>仮コード</td> <td>✗ 1</td> </tr> <tr> <td>失火モータ</td> <td>✓</td> <td>燃料系モータ</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>構成部品モータ</td> <td>✓</td> <td>触媒モータ</td> <td>✗</td> </tr> <tr> <td>加熱触媒モータ</td> <td>—</td> <td>エバポレータモータ</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>2次エア系モータ</td> <td>—</td> <td>A/C系モータ</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>O2センサモータ</td> <td>✗</td> <td>O2センサモータ</td> <td>✗</td> </tr> <tr> <td>EGR系モータ</td> <td>✗</td> <td>DG消去後距離</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>戻る</p>	項目	値	項目	値	MIL	○	点火モータ	Spark	確定故障	✓	仮コード	✗ 1	失火モータ	✓	燃料系モータ	✓	構成部品モータ	✓	触媒モータ	✗	加熱触媒モータ	—	エバポレータモータ	—	2次エア系モータ	—	A/C系モータ	—	O2センサモータ	✗	O2センサモータ	✗	EGR系モータ	✗	DG消去後距離	—
項目	値	項目	値																																			
MIL	○	点火モータ	Spark																																			
確定故障	✓	仮コード	✗ 1																																			
失火モータ	✓	燃料系モータ	✓																																			
構成部品モータ	✓	触媒モータ	✗																																			
加熱触媒モータ	—	エバポレータモータ	—																																			
2次エア系モータ	—	A/C系モータ	—																																			
O2センサモータ	✗	O2センサモータ	✗																																			
EGR系モータ	✗	DG消去後距離	—																																			

3.3.11. レポート作成

6システムの自己診断データの取得	
1	<p>診断メニュー画面から「レポート作成」を選択します。 「3.2.1. 診断ソフトのメインメニュー表示」の(1)～(5)と同様に適合する項目を選択します。</p>
2	<p>「イグニッションスイッチオン・エンジン停止を確認して下さい」のメッセージが表示されます。 メッセージ内容を確認して「次へ」を押します。</p>
3	<p>全自己診断が開始されます。</p>
4	<p>全自己診断が終了すると日常点検画面に切替わります。</p>



日常点検項目の入力

内容に合った点検内容を選択/入力をして下さい。
点検項目の右端にあるプルダウンボタンをタップすると内容を選択できます。
また、備考欄には入力することができます。

選択/入力が完了したら「次へ」ボタンを押してください。

1

MST-nano トヨタ プリウス 札幌 123 あ 12-34

日常点検
異常摩耗や亀裂 : 有
備考(タイヤ) :

ブレーキ
ブレーキパッドの残り : 有
備考(ブレーキ) : 有

バッテリー
バッテリー総合診断 : 良好
バッテリー寿命 : %
バッテリー始動能力 : 良好
充電系テスト結果 : 良好
備考(バッテリー) :

総合点検結果 : 異常なし

キャンセル

次へ

MST-nano トヨタ プリウス 札幌 123 あ 12-34

日常点検
異常摩耗や亀裂 : 有
備考(タイヤ) :

ブレーキ
ブレーキパッドの残り : 無
備考(ブレーキ) :

バッテリー
バッテリー総合診断 : 良好
バッテリー寿命 : %
バッテリー始動能力 : 良好
充電系テスト結果 : 良好
備考(バッテリー) :

総合点検結果 : 異常なし

キャンセル

次へ

総合点検結果画面が表示されます。
総合点検結果画面では、診断車両情報、6システム (エンジン・HV/PHV/EV・トランスミッション・ABS・パワーステアリング・エアバッグ) の自己診断情報、日常点検で入力した点検内容の表示と印刷・保存が行えます。

2

nano WIN トヨタ プリウス 札幌 123 あ 12-34

総合点検結果: 異常なし

点検日時 : 2021/02/15 11:36:50
メーカー : トヨタ
車名 : プリウス
車両情報 : 札幌123あ12-34
車台番号 :
型式 :
原動機の型式 :
型式指定番号 :
類別区分番号 :
初年度登録日 :
診断開始日時 : 2021/02/15 11:34:13
診断終了日時 : 2021/02/15 11:36:50

戻る

終了

印刷

nano WIN トヨタ プリウス 札幌 123 あ 12-34

総合点検結果: 異常なし
診断機: 日野

開始電圧 : 11.66 V
終了電圧 : 11.63 V

システム診断

エンジン : OK
HV / PHV / EV / IMA : OK
トランスミッション : —
ABS : OK
パワーステアリング : OK
エアバッグ : OK

タイヤ

タイヤ溝(総合) : 良好

戻る

終了

印刷

nano WIN トヨタ プリウス 札幌 123 あ 12-34

総合点検結果: 異常なし
備考(タイヤ) :

ブレーキ
ブレーキパッドの残り : 有
備考(ブレーキ) :

バッテリー
バッテリー総合診断 : 良好
バッテリー寿命 : %
バッテリー始動能力 : 良好
充電系テスト結果 : 良好
備考(バッテリー) :

総合点検結果 : 異常なし
備考(総合点検) :

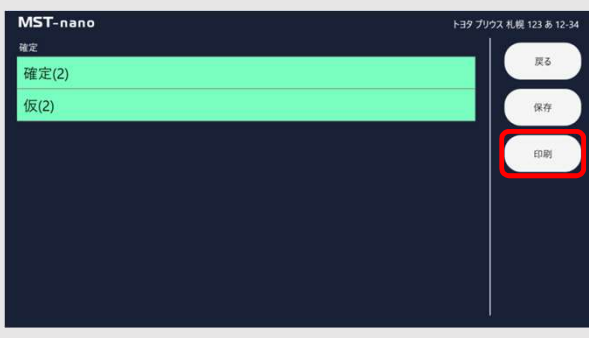
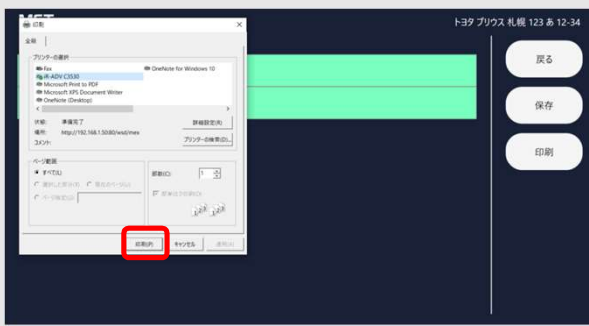
戻る

終了


印刷

3.3.12. 印刷

結果を印刷する

<p>1</p>	<p>「印刷」を選択します。</p>	
<p>2</p>	<p>印刷設定画面が表示されます。 設定が完了したら「印刷」を選択します。</p> <p>※プリンターとの接続設定はプリンターの取扱説明書をご確認ください。</p>	

総合点検結果を印刷する

<p>1</p>	<p>印刷の手順は44ページの「結果を印刷する」と同様です。</p>	
<p>2</p>	<p>「レポート作成」の総合点検結果の印刷では、イラスト入りの専用フォーマットで印刷することができます。</p>	

3.3.13. 保存データ履歴表示と削除

保存データ履歴表示

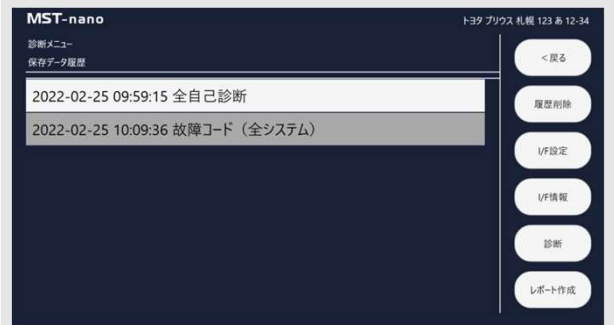
1

「車両診断」-「車両情報選択」画面から保存した車両を選択して「診断メニュー」を選択します。または、「保存データ」から保存した車両を選択します。



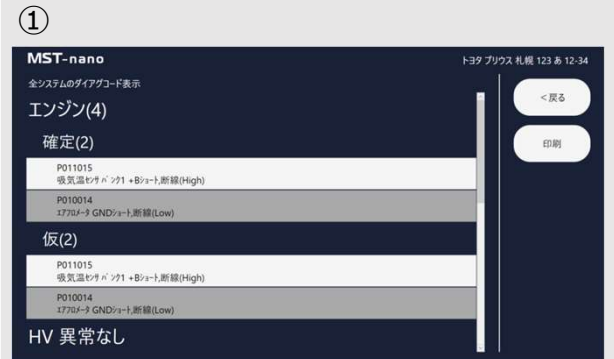
2

保存データ履歴一覧が表示されます。



確認したい履歴を選択すると表示されます。

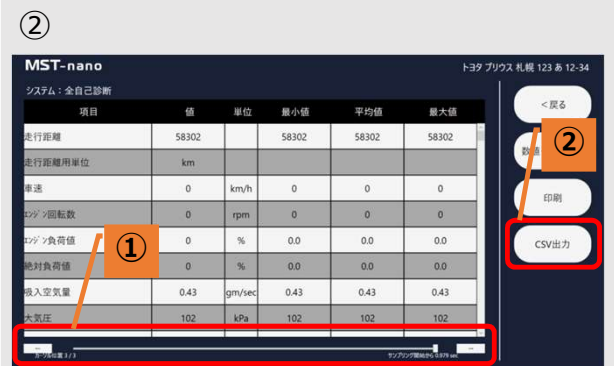
①全自己診断の表示例



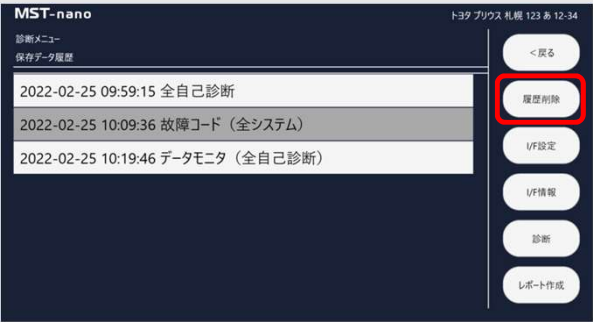
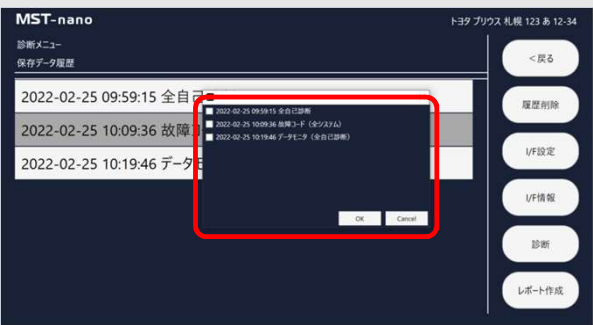
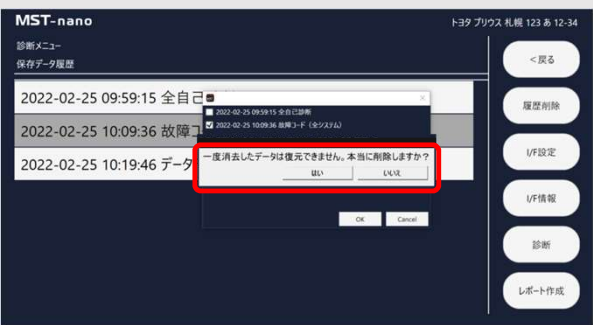
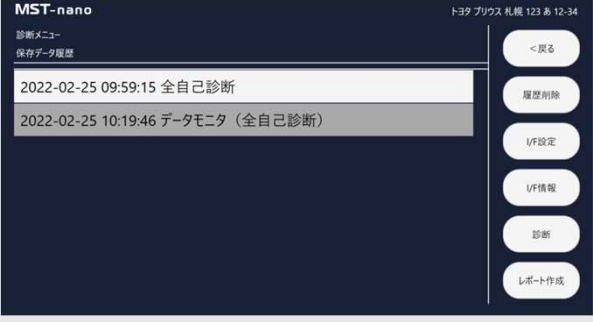
3

②データモニタの表示例

①矢印ボタンでサンプリング時間の移動ができます。
②保存データ履歴のデータモニタからは、通常の「印刷」の他に「CSV出力」が行えます。



保存データの履歴削除

1	「保存データ履歴表示」の(2)までを同様に行い「履歴削除」を選択します。	
2	削除するデータを選択してチェックを入れます。	
3	確認ダイアログが表示されますので、間違いなければ「OK」を選択します。	
4	データが削除されました。 ※保存データ履歴の表示・削除はメインメニュー画面の「保存データ」からも同様に行えます。	

3.3.14. I/F設定

I/F設定		
1	<p>診断メニュー画面から「I/F 設定」を選択します。 ブザー音の設定画面が表示されます。</p>	 <p>MST-nano トヨタ プリウス 札幌 123 あ 12-34 診断メニュー 保存データ履歴 <戻る 履歴削除 I/F設定 I/F情報 診断 レポート作成</p>
2	<p>クリックしてブザー音のON/OFFを切替えます。</p>	 <p>MST-nano トヨタ プリウス 札幌 123 あ 12-34 設定 ブザー-OFF (切) 終了</p> <p>MST-nano トヨタ プリウス 札幌 123 あ 12-34 設定 ブザー-ON (入) 終了</p>

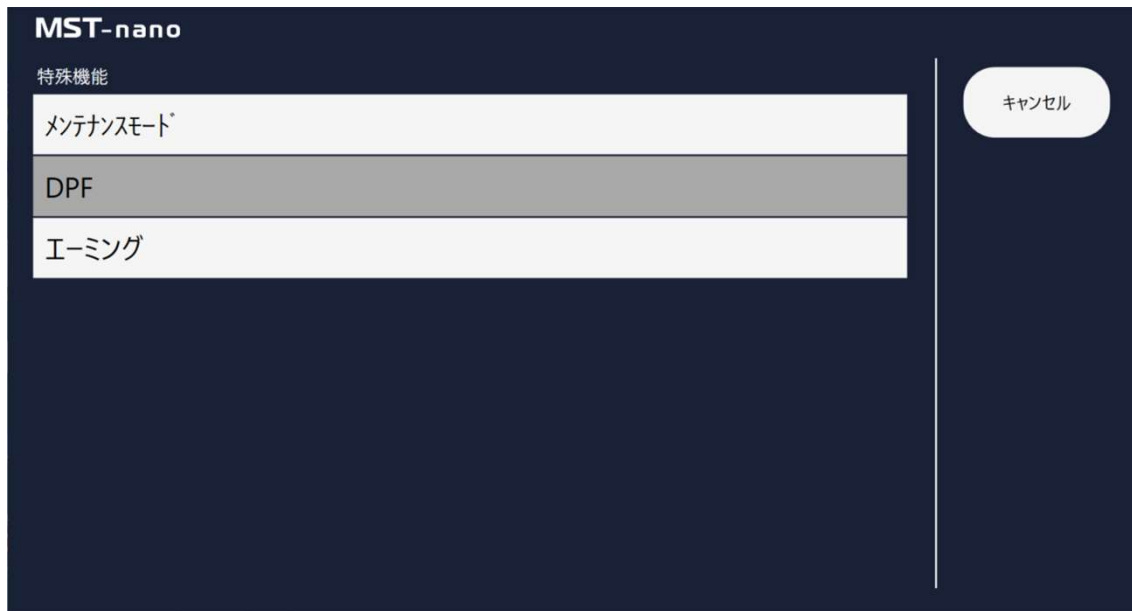
3.3.15. I/F情報

I/F情報		
1	<p>診断メニュー画面から「I/F 情報」を選択します。 I/Fの各情報が表示されます。</p>	 <p>MST-nano トヨタ プリウス 札幌 123 あ 12-34 終了 本体シリアル番号: 36-001059 OSバージョン: 1.46 (2021.01.26) BLバージョン: 3 ダウンロード期間: 2021-08-04 本体保証期間: 2021-08-04</p>

4. 特殊機能

4.1. 特殊機能項目


各診断ソフトの作業サポート機能をまとめて、選択の手間を省略化した項目です。




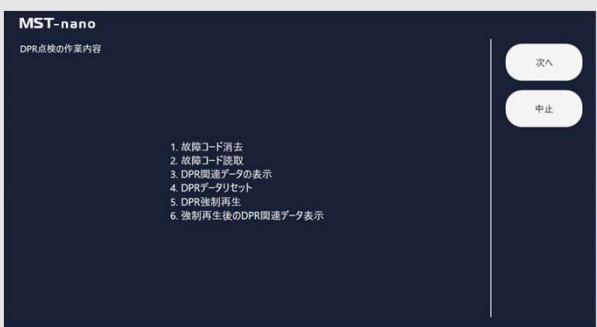
【特殊機能画面】

	機能	内容
1	メンテナンスモード	ブレーキフルードのエア抜きや整備モード移行など日常点検に必要な作業サポート機能がまとめてあります。
2	DPF	国産トラックメーカー(いすゞ、日野、三菱ふそう、UDトラックス)のDPF再生関連の機能がまとめてあります。
3	エーミング	エーミングと全自己診断が行えます。エーミング完了時の自動ログ保存に加えて、入庫時と実施後の全自己診断結果を保存できます。

4.1.1. メンテナンスモード


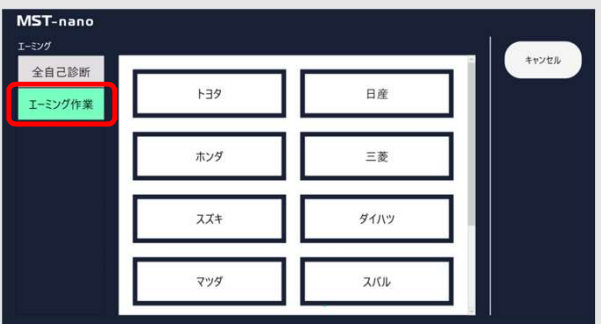
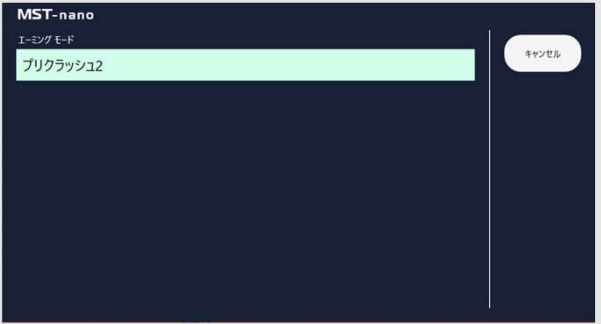
1	メーカー、カテゴリを選択して作業サポート項目を選択します。	
---	-------------------------------	--

4.1.2. DPF

1	メーカーを選択して実行する項目を選択します。 (例：日野 DPR点検モード)	
2	作業内容が表示されます。 確認して「次へ」を選択します。	

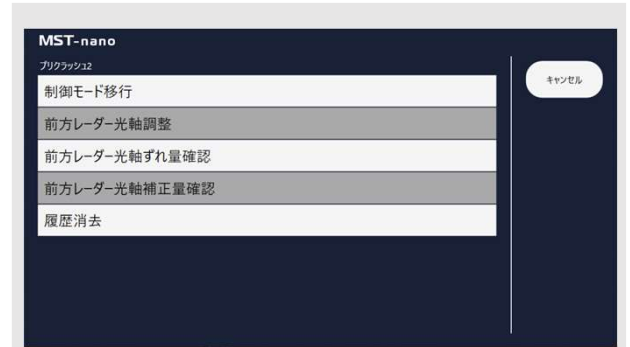
3	DPR点検モードが開始されます。	
4	開始されると故障コードの消去後、故障コードを読み取りが実行され、正常に消去が完了すると関連データが表示されます。確認して「次へ」を選択します。	
5	DPRデータリセットへ移行します。	
6	リセットが完了しました。指示に従い「次へ」を選択します。	

4.1.3. エーミング

1	特殊機能画面から「エーミング」を選択します。	 <p>MST-nano 特殊機能 メンテナンスモード DPF エーミング コーディング</p> <p>キャンセル</p>								
2	「エーミング作業」を選択して、続いて実行するメーカーを選択します。	 <p>MST-nano エーミング 全自己診断 エーミング作業</p> <table border="1"><tr><td>トヨタ</td><td>日産</td></tr><tr><td>ホンダ</td><td>三菱</td></tr><tr><td>スズキ</td><td>ダイハツ</td></tr><tr><td>マツダ</td><td>スバル</td></tr></table> <p>キャンセル</p>	トヨタ	日産	ホンダ	三菱	スズキ	ダイハツ	マツダ	スバル
トヨタ	日産									
ホンダ	三菱									
スズキ	ダイハツ									
マツダ	スバル									
3	以下の内容は、2015年式トヨタ プリウス、ミリ波レーダーのエーミングの方法です。 エーミングする装置を選択します。	 <p>MST-nano エーミングモード プリクラッシュ2</p> <p>キャンセル</p>								

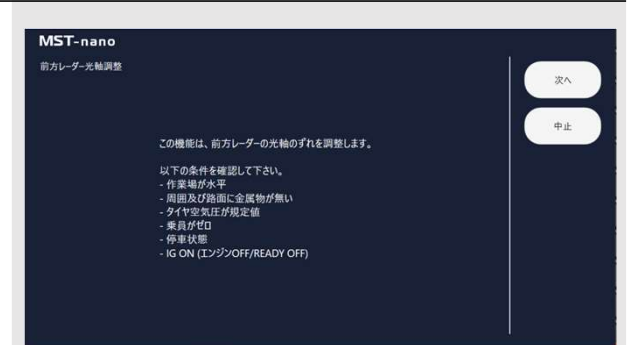
4

実行する調整内容を選択します。
今回は「前方レーダー光軸調整」を選択します。



5

確認事項が表示されます。
確認して「次へ」を選択します。



6


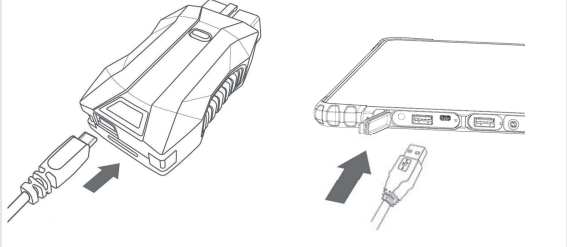

正しくエーミングできれば完了します。



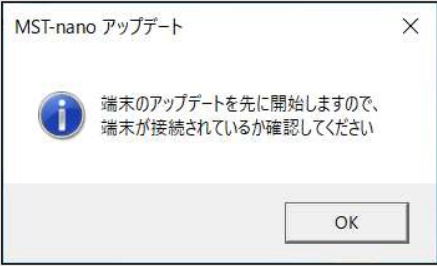
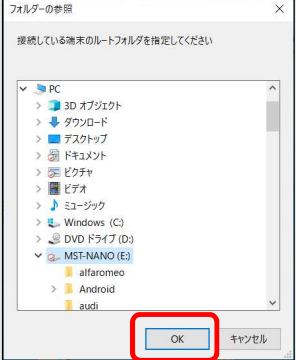


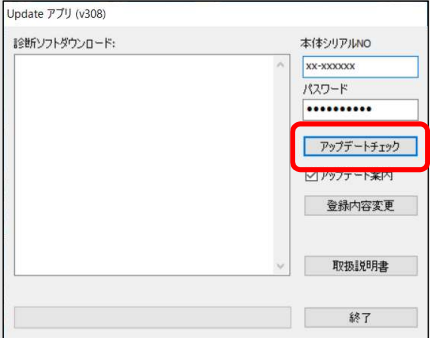
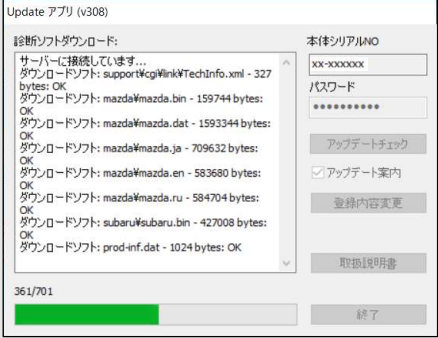
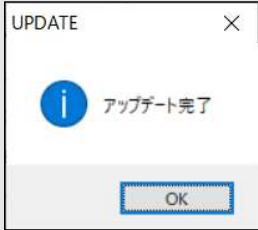
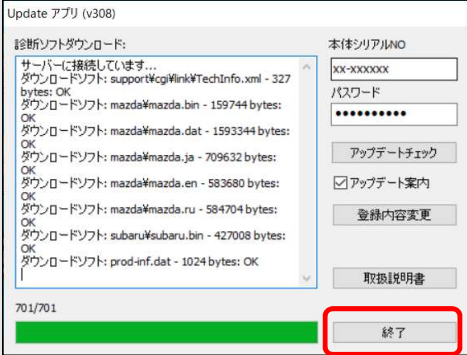
5. 更新

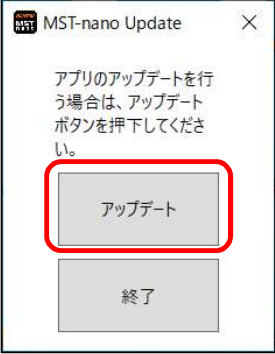
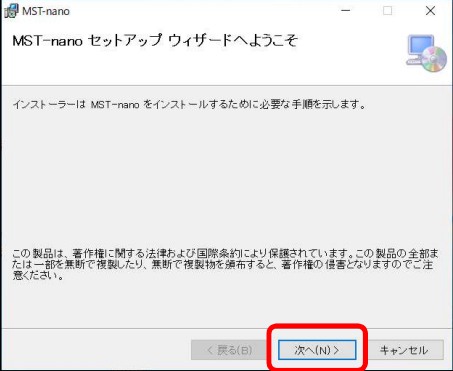
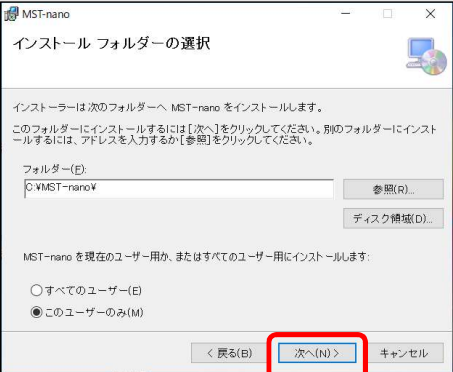
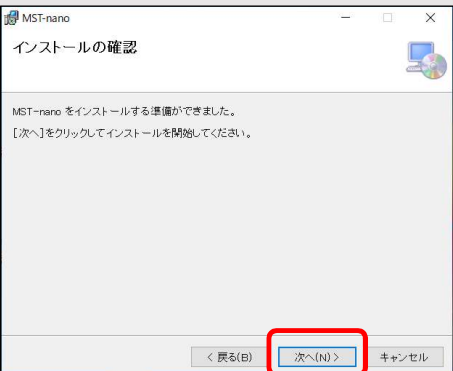
5.1. I/Fとアプリの更新

MST-nano(I/F)とタブレット内のアプリの更新を行います。

<p>1</p>	<p>タブレットをインターネット接続します。 画面右下のマークをクリックして対象のインターネットと「接続済み」であることを確認します。</p> <p>初めて接続する場合は、パスワードを入力してください。 パスワード等の詳しい接続方法はルーターの取扱説明書をご確認ください。</p>	
<p>2</p>	<p>MST-nano (I/F)とタブレットをmicro USB ケーブルで接続します。</p>	
<p>3</p>	<p>タブレットのアプリを起動します。</p>	

<p>4</p>	<p>メインメニュー画面から「更新」を選択します。</p>	
<p>5</p>	<p>ソフトウェア更新画面が表示されます。</p> <p>ソフトウェア更新を行う場合、MST-nano (I/F) をタブレットとUSBケーブルで接続してから「OK」を選択します。</p>	
<p>6</p>	<p>「OK」を選択します。</p>	
<p>7</p>	<p>「MST-NANO」を選択し、「OK」を選択します。</p>	

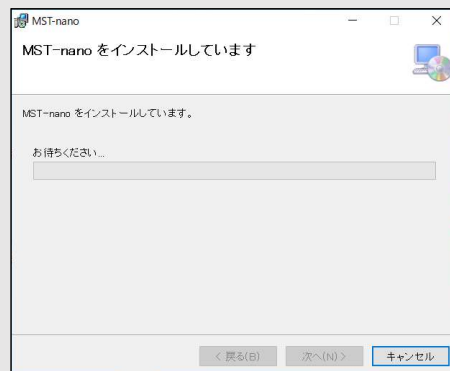
<p>8</p>	<p>本体シリアルNOとパスワードが入力されていることを確認し、「アップデートチェック」を選択します。</p>	
<p>9</p>	<p>MST-nano 本体(I/F)のアップデートが開始されます。</p>	
<p>10</p>	<p>アップデート完了後に表示されます。「OK」を選択します。</p>	
<p>11</p>	<p>「終了」を選択します。</p>	

<p>12</p>	<p>アプリのアップデートを行う場合、「アップデート」を選択して下さい。</p> <p>「終了」選択時は、アプリのアップデートは行いません。</p>	
<p>13</p>	<p>インストーラ画面が表示されます。「次へ」を選択します。</p>	
<p>14</p>	<p>基本設定のまま「次へ」を選択します。</p>	
<p>15</p>	<p>「次へ」を選択します。</p>	

アプリのインストールが開始されます。

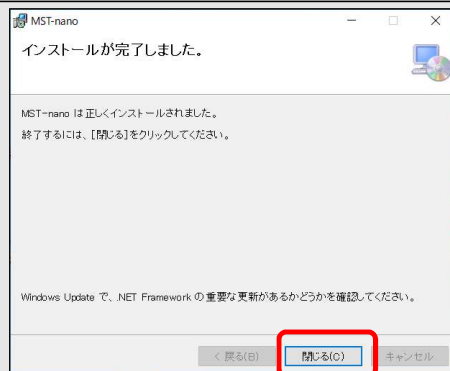
※インストール時に警告メッセージが出る場合がありますが、「はい」を選択します。

16




「閉じる」を選択します。
MST-nano(I/F)及びアプリの更新は完了です。

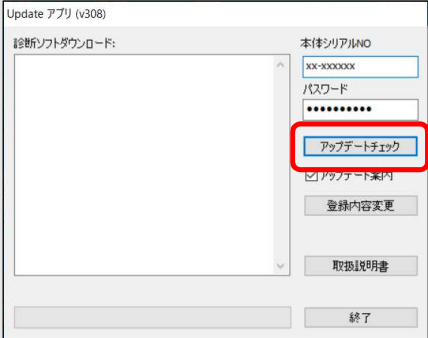
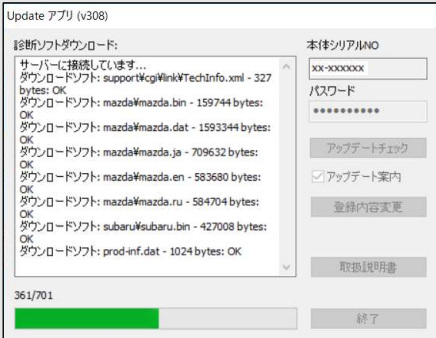
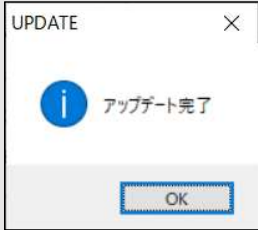
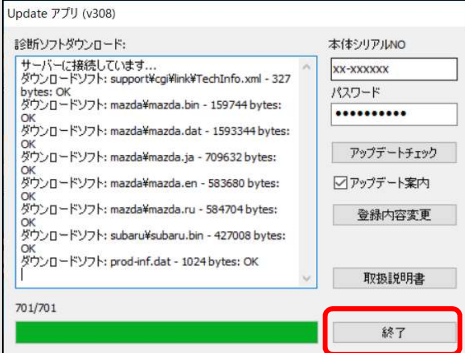
17




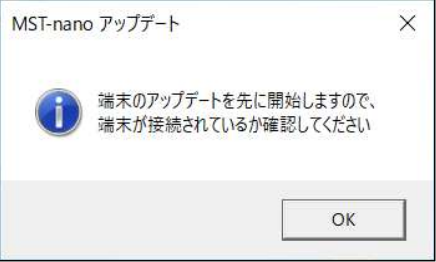

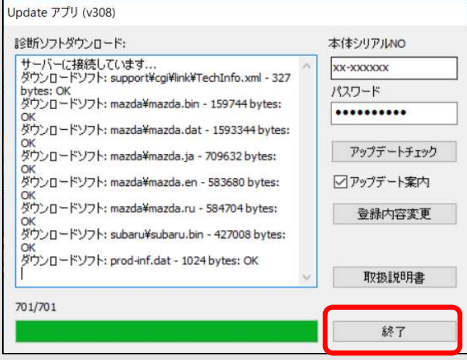
5.2. タブレットをインターネット接続しない場合の更新

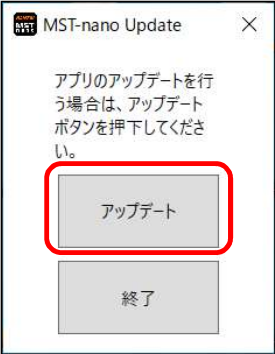
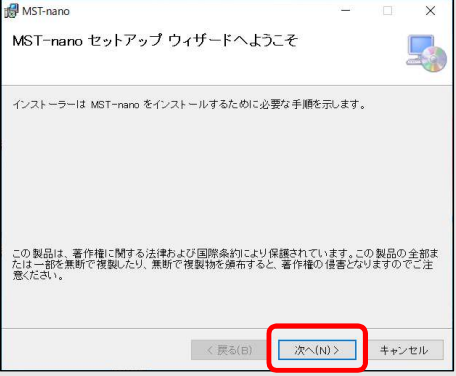
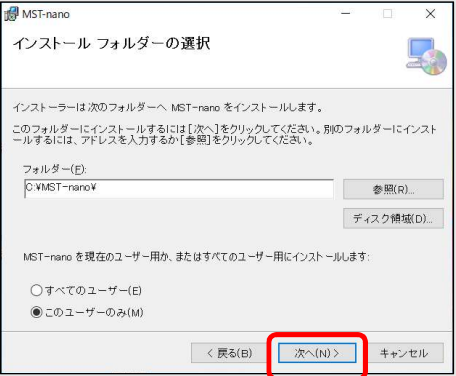
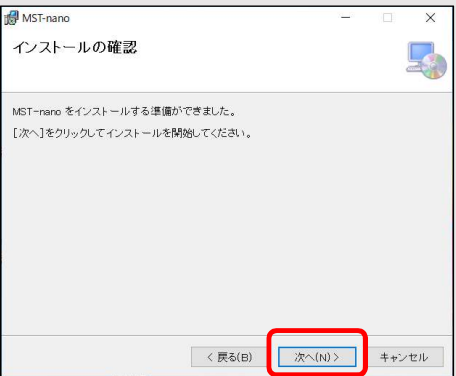
タブレットをインターネット接続しない場合でも、インターネット接続できるパソコンをご用意いただければアップデートすることができます。

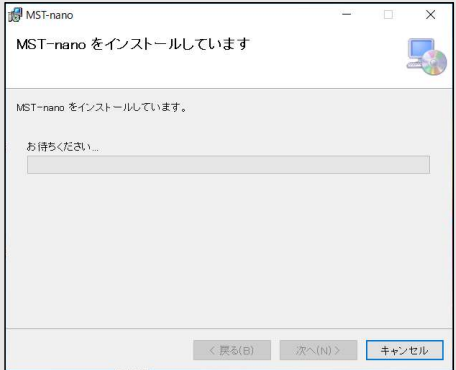
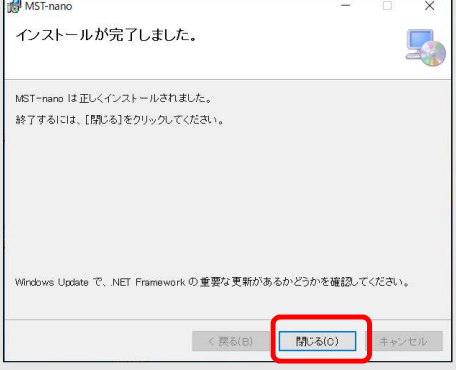
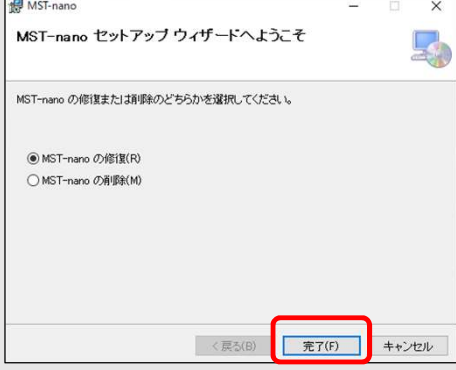
1	<p>MST-nano(I/F)を付属のmicro USBケーブルでインターネット接続されたパソコンと接続します。</p>	
2	<p>デスクトップ上の「コンピューター」または「PC」をダブルクリックしてエクスプローラーを起動します。 Windows10以降のパソコンは右記参照ください。</p>	 <p>Windows10ご使用時のお客様 コンピュータ(PC)の開き方</p> <ol style="list-style-type: none">① 画面左下の、Windowsマークをクリックします。 ② メニューを開いたら「エクスプローラー」をクリックして開きます。 ③ エクスプローラー画面が表示されたら、左側メニューより「PC」をクリックして選択します。 
3	<p>「リムーバブル記憶域があるデバイス」または「デバイスとドライブ」に表示された「MST-NANO」を選択し、「UPDATE.exe」(アプリケーション)をダブルクリックします。</p>	

4	<p>本体シリアルNOとパスワードが入力されていることを確認し、「アップデートチェック」を選択します。</p>	
5	<p>MST-nano 本体(I/F)のアップデートがダウンロードされます。</p>	
6	<p>アップデート完了後に表示されます。「OK」を選択します。</p>	
7	<p>「終了」を選択します。</p>	

8	パソコンからMST-nano(I/F)を取外します。	
9	MST-nano (I/F)とタブレットをmicro USB ケーブルで接続します。	
10	タブレットのアプリを起動します。	
11	メインメニュー画面から「更新」を選択します。	

<p>12</p>	<p>ソフトウェア更新画面が表示されます。</p> <p>ソフトウェア更新を行う場合、MST-nano (I/F) をタブレットとUSBケーブルで接続してから「OK」を選択します。</p>	
<p>13</p>	<p>「OK」を選択します。</p>	
<p>14</p>	<p>「MST-NANO」を選択し、「OK」を選択します。</p>	
<p>15</p>	<p>本体シリアルNOとパスワードが入力されていることを確認し、「終了」を選択します。</p>	


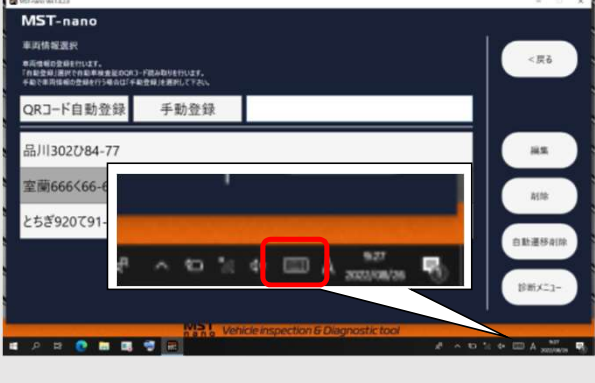

<p>16</p>	<p>「アップデート」を選択します。</p>	 <p>MST-nano Update</p> <p>アプリのアップデートを行う場合は、アップデートボタンを押下してください。</p> <p>アップデート</p> <p>終了</p>
<p>17</p>	<p>インストーラ画面が表示されます。 「次へ」を選択します。</p>	 <p>MST-nano</p> <p>MST-nano セットアップ ウィザードへようこそ</p> <p>インストーラーは MST-nano をインストールするために必要な手順を示します。</p> <p>この製品は、著作権に関する法律および国際条約により保護されています。この製品の全部または一部を無断で複製したり、無断で複製物を頒布すると、著作権の侵害となりますのでご注意ください。</p> <p>< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル</p>
<p>18</p>	<p>基本設定のまま「次へ」を選択します。</p>	 <p>MST-nano</p> <p>インストール フォルダーの選択</p> <p>インストーラーは次のフォルダーへ MST-nano をインストールします。</p> <p>このフォルダーにインストールするには [次へ] をクリックしてください。別のフォルダーにインストールするには、アドレスを入力するか [参照] をクリックしてください。</p> <p>フォルダー(E): C:\MST-nano\ 参照(R)... ディスク領域(D)...</p> <p>MST-nano を現在のユーザー用か、またはすべてのユーザー用にインストールします:</p> <p><input type="radio"/> すべてのユーザー(E) <input checked="" type="radio"/> このユーザーのみ(M)</p> <p>< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル</p>
<p>19</p>	<p>「次へ」を選択します。</p>	 <p>MST-nano</p> <p>インストールの確認</p> <p>MST-nano をインストールする準備ができました。 [次へ] をクリックしてインストールを開始してください。</p> <p>< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル</p>

<p>20</p>	<p>アプリのインストールが開始されます。</p> <p>※インストール時に警告メッセージが出る場合がありますが、「はい」を選択します。</p>	
<p>21</p>	<p>「閉じる」を選択します。 アプリの更新は完了です。</p>	
<p>-</p>	<p>2回目以降の更新では 16 画面の次に右画面が出る場合があります。 その場合は、「MST-nanoの修復」を選択して「完了」を選択します。 その後、17～20 画面はスキップされ 21 画面にて更新は完了です。</p>	

6. タブレットの設定

6.1. 画面へのキーボード表示

画面にキーボードを表示します。

<p>1</p>	<p>文字を入力したい部分を選択します。 (例：車両情報 手動登録)</p>	
<p>2</p>	<p>タブレット右下のキーボードを選択します。</p>	
<p>3</p>	<p>キーボードが表示され、入力が可能となります。</p>	

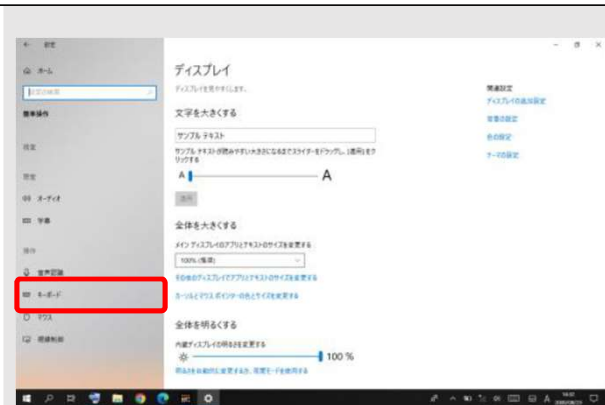
6.2. キーボードソフトの起動

6.1. の方法でキーボードが表示されない場合は、次の方法でもキーボードを表示することができます。

1	デスクトップ右下の箇所を選択します。	
2	「すべての設定」を選択します。	
3	「設定」が表示されたら「簡単操作」を選択します。	

左の項目から「キーボード」を選択します。

4



「スクリーンキーボードを使用する」を「ON」にします。

5



しばらくするとキーボードが表示され、入力が可能となります。

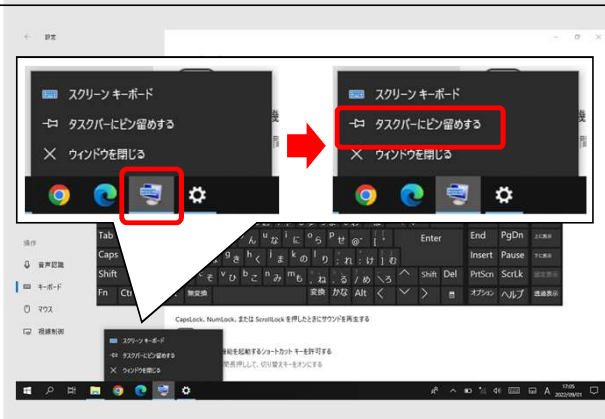
6



キーボードを「x」で消すと、再度キーボードを起動する時は「すべての設定」を開き直す必要がありますが、以下設定をすることで、簡単に起動できます。

7

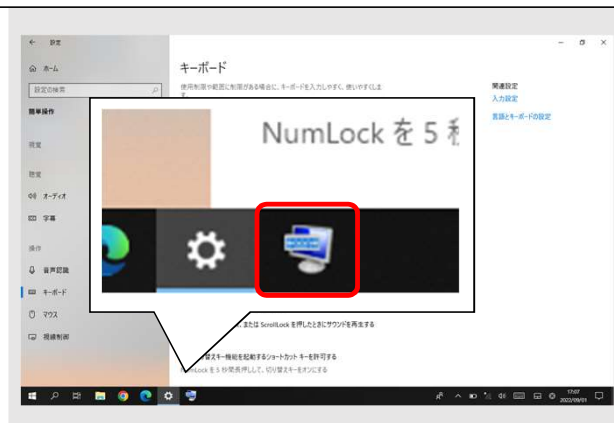
キーボードが表示された状態でアイコンを長押しすると3つのメニューが表示されます。「タスクバーにピン留めする」を選択します。



この設定をすることで、キーボードを「×」で消してもアイコンはデスクトップに残り続け、タッチすることで、キーボードが起動します。

8

もし、使用しなくなりアイコンを消したい場合は、再度アイコンを長押しして、メニューが表示され、「タスクバーからピン留めを外す」を選択することでアイコンは消えます。



6.3. PDFの表示

PDFデータをタブレットで表示するにはEdgeなどのソフトが必要になります。
以下方法でインストールしてください。

6.3.1. ソフトのインストール (例 : Edge)

ここでは、例としてEdgeのインストール方法の説明になります。

1

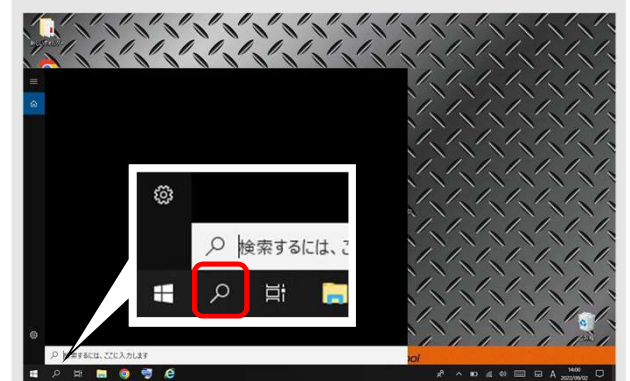
タブレットをインターネット接続します。
画面右下のマークをクリックして対象のインターネットと「接続済み」であることを確認します。

初めて接続する場合は、パスワードを入力してください。
パスワード等の詳しい接続方法はルーターの取扱説明書をご確認ください。



2

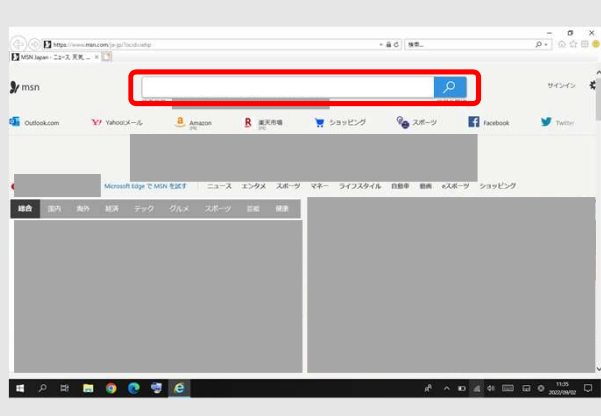
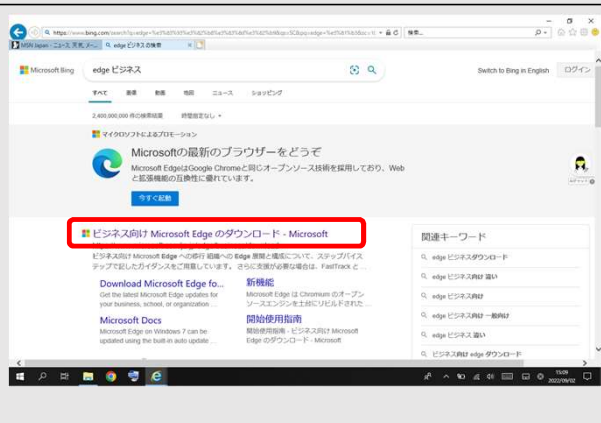
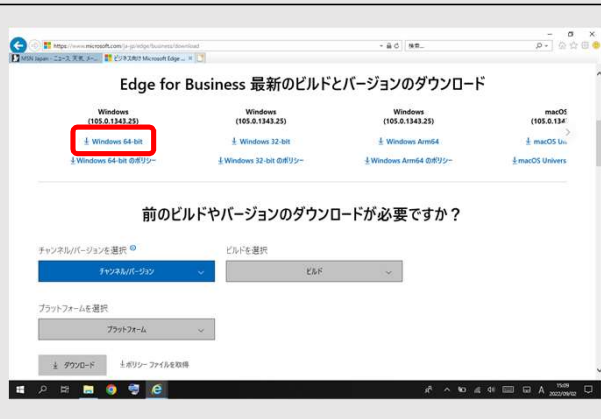
画面左下の検索マークをクリックして、検索画面を開きます。



<p>3</p>	<p>検索で「ie」と検索し、「Internet Explorer」を選択します。</p>	<p>A screenshot of the Windows Start menu search interface. The search bar at the top contains the text 'ie'. Below the search bar, a list of search results is displayed. The first result, 'Internet Explorer', is highlighted with a red rectangular box. The search bar itself is also highlighted with a red rectangular box.</p>
<p>4</p>	<p>Internet Explorerが起動します。「edge」を検索します。 ※Internet Explorerの起動画面デザインは変わることがあります。</p>	<p>A screenshot of the Microsoft Edge browser interface. The address bar at the top contains the text 'edge'. The search bar below the address bar is highlighted with a red rectangular box. The browser is displaying the Microsoft Edge homepage.</p>
<p>5</p>	<p>Microsoft Edge Web ブラウザのダウンロードページを開きます。 その後、ページ内のEdgeダウンロード方法に従います。 ※検索結果は変わることがあります。</p>	<p>A screenshot of the Microsoft Edge download page on the Bing search engine. The search bar at the top contains the text 'edge'. The search results are displayed below. The first result, 'Microsoft Edge Web ブラウザーをダウンロード Microsoft', is highlighted with a red rectangular box. The search bar is also highlighted with a red rectangular box.</p>
<p>6</p>	<p>ページ下の「実行」を選択します。 その後、ダウンロードとインストールが完了すると使用することが可能となります。 画面左下の検索マークで「edge」と検索すると結果にEdgeが選択可能となります。 選択するとEdgeブラウザが起動します。</p>	<p>A screenshot of the Microsoft Edge download page. The page displays the Microsoft Edge logo and the text 'ご利用ありがとうございました。ダウンロードは間もなく開始されます。' (Thank you for using Microsoft Edge. Download will start shortly). At the bottom of the page, there is a red rectangular box highlighting the '実行' (Run) button. The search bar at the top of the browser window contains the text 'edge'.</p>

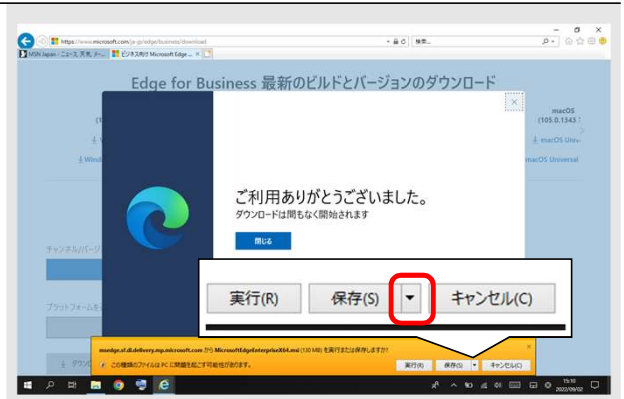
6.3.2. タブレットをインターネット接続しない場合のインストール (例 : Edge)

タブレットをインターネット接続しない場合でも、インターネット接続できるパソコンをご用意いただければインストールすることができます。

1	<p>インターネット接続できるパソコンで「edge ビジネス」を検索します。 ※Internet Explorerで検索した場合の画面です。</p>	
2	<p>ビジネス向け Microsoft Edge のダウンロードページを開きます。 ※検索結果は変わることがあります。</p>	
3	<p>「Windows 64-bit」を選択します。</p>	

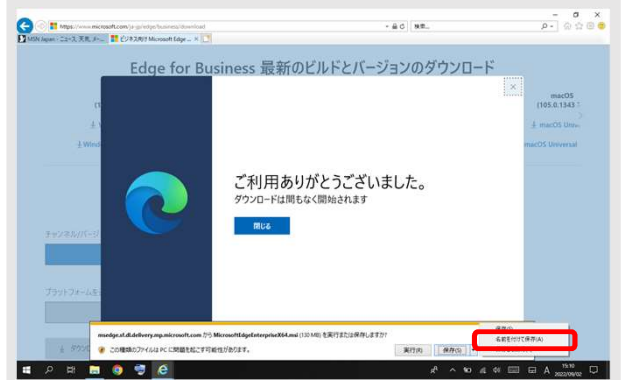
ページ下の「保存」右の「▼」を選択します。

4



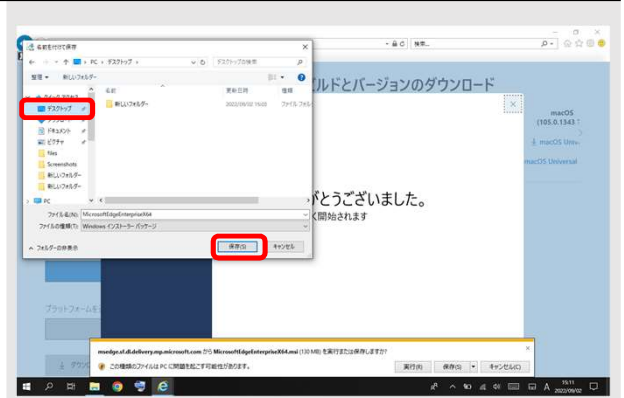
「名前を付けて保存」を選択します。

5



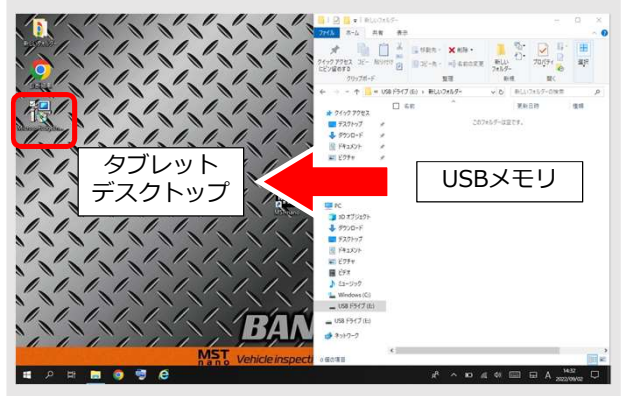
保存場所として「デスクトップ」を選択し、「保存」します。

6



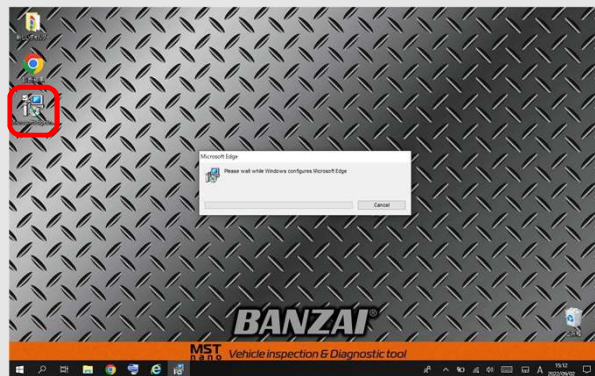
デスクトップに保存されたデータをUSBメモリに保存し、タブレットデスクトップに保存します。

7



デスクトップのアイコンをクリックして起動します。

8



インストールが終了すると、Edgeショートカットがデスクトップに表示されます。
インストールは完了なので、デスクトップのインストールアイコンは削除しても問題ありません。

9



7. 保証について

- ・MST-nanoはお客様がインターネットを使用してユーザー登録した日を開始日として1年間保証されます。
- ・但し、保証期間はインターネットを使用して正しくユーザー登録されている場合のみ有効です。
- ・保証対象はI/F本体が3年、タブレットが1年です。ケーブルなどの付属品は保証対象外となります。
- ・保証期間内に正常な使用方法にて故障した場合は無償修理いたします。
- ・火災、天災による故障の場合は保証適応外となります。
- ・乱用、改造、分解あるいは意図された用途以外の目的に使用された場合は保証適応外となります。
- ・原則的に本製品は現品修理となります。
- ・お買い上げになりましたI/F本体、タブレットやケーブルを修理のために送付しなければならない場合の往復運賃はお客様のご負担となります。
- ・期間終了後1ヶ月以内にアップデート延長申込をされた場合に限り、本体保証も1年間延長されます。
※アップデートおよび保証期間はメインメニューの「本体ID」からご確認いただけます。

お問合せ先について

製品の取り扱いに関するお問い合わせ並びに診断不可車両がございましたら自動車検査証など車両情報が分かるものをご用意の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

なお、故障コードに対する修理方法等は返答致しかねますので、スキャンツールホットライン（1年間無料）へお問い合わせ頂くか、車の修理書等をご覧頂く様予めご了承願います。

商品名	MST-nano
I/F 本体ID	No. 36 -
ユーザー登録日	年 月 日
無償アップデート終了日	年 月 日 (ユーザー登録から3年後)
販売店	社 名 : 担当者 : 住 所 : T E L : F A X :

- 本社 東京都港区芝2-31-19
〒105-8580 TEL(03)3769-6880
- 札幌支店 札幌市西区24軒1条7-3-10
〒063-0801 TEL(011)621-4171
 - 旭川営業所 旭川市東七条5-2-3
〒070-0027 TEL(0166)29-6050
- 仙台支店 仙台市宮城野区福室2-8-21
〒983-0005 TEL(022)258-0221
 - 青森営業所 青森市緑1-19-8
〒030-0845 TEL(017)734-3501
 - 盛岡営業所 盛岡市流通センター北1-3-9
〒020-0846 TEL(019)638-5321
 - 山形営業所 山形市流通センター3-11-1
〒990-0071 TEL(023)633-3100
 - 郡山営業所 郡山市安積町長久保3-2-11
〒963-0105 TEL(024)946-6370
 - 秋田営業所 秋田市川尻町大川反170-20
〒010-0941 TEL(018)862-4371
- 関東支店 北本市朝日4-553
〒364-0011 TEL(048)590-3700
 - 新潟営業所 新潟市中央区上所上3-1-22
〒950-0992 TEL(025)285-6231
 - 長野営業所 長野市大字西尾張部1118-8
〒381-0031 TEL(026)263-1433
 - 前橋営業所 前橋市元総社町2-6-7
〒371-0846 TEL(027)251-2168
 - 宇都宮営業所 宇都宮市築瀬3-29-12
〒321-0934 TEL(028)638-8811
 - 水戸営業所 水戸市笠原町1374-4
〒310-0852 TEL(029)241-1478
 - 埼玉営業所 北本市朝日4-553
〒364-0011 TEL(048)590-3600
 - 千葉営業所 千葉市美浜区新港212
〒261-0002 TEL(043)241-5828
- 東京支店 東京都港区芝2-31-19
〒105-8580 TEL(03)3769-6840
 - 多摩営業所 国立市北3-29-8
〒186-0001 TEL(042)525-9101
 - 横浜営業所 横浜市中区住吉町6-68-1
〒231-0013 TEL(045)633-3701
 - 静岡営業所 静岡市駿河区弥生町2-40
〒422-8009 TEL(054)261-3351
- 名古屋支店 名古屋市千種区青柳町6-26
〒464-0852 TEL(052)732-2600
 - 北陸営業所 金沢市松島2-13
〒920-0364 TEL(076)240-6661
 - 三重営業所 津市栄町1-852
〒514-0004 TEL(059)225-7811
- 大阪支店 東大阪市長田東3-3-11
〒577-0012 TEL(06)6744-1041
 - 神戸営業所 神戸市兵庫区西出町1-2-11
〒652-0822 TEL(078)652-2155
 - 京都営業所 京都市伏見区中島宮ノ前町4-2
〒612-8457 TEL(075)621-8213
 - 高松営業所 高松市六条町1133-1
〒761-0303 TEL(087)866-5777
- 広島支店 広島市西区南観音2-7-10
〒733-0035 TEL(082)233-3201
- 福岡支店 福岡市博多区那珂5-3-15
〒812-0893 TEL(092)411-1261

お問い合わせは



販売店の方へのお願い
この取扱説明書は、必ずお客様にお渡ししてください。

(2021.7.26現在)